京城日報
夕刊
(水)日三十二月二十

けふ第三回の御誕辰
大内山は慶色に溢る

皇太子殿下

【東京電話】皇太子殿下には廿三日御目出度く第三回の御誕辰を迎へさせられ大内山は慶色に溢れる、この朝天皇、皇后兩陛下には御健かに御生育の御可愛盛りの御元気な皇太子殿下と御對面、御光々お寫がせられつゝ御祝詞を交はされたと承るが、午前十時半、皇太子殿下と御揃ひにて松平宮相、湯淺内府、百武侍從長、廣幡大夫、宇佐美武官長、佐藤侍醫頭に賜謁、御祝詞を受けさせられ、午前十一時秩父宮同妃、高松宮同妃各殿下を初め奉り各皇族方に御對面、御祝詞を受けさせられ、大宮御所に在す皇太后陛下にも今日の佳辰を御慶び遊ばされ、御使を宮城に御差遣御祝詞を言上せられて御目出度を數々の御祝品の御贈答等あり、皇太子殿下には正午御祝膳に御着きになり御祝遊ばされた、午後は照宮、孝宮、順宮各内親王様方を招めお揃ひにて御和やかな御團欒の裡に過させられたが、午後六時よりは　兩陛下出御松平宮相、湯淺内府、百武侍從長以下側近奉仕者を召されて御内宴を催させられ、皇太子殿下の御幸を壽がせられる

東宮假御所
五月に移らせ
給ふ御豫定

【東京電話】目出たく第三回の御誕辰を迎へさせられた皇太子殿下には、近く御六歳の春を迎へさせられるが、陽春五月にはいよいよ御兩陛下の御膝下を離れさせられ赤坂離宮内東宮假御所に移らせ給ふ御豫定と拜承する、輝かしき御殿はこの程竣工、來る卅日までには什器裝飾等も完成することゝなつたが、約七百坪の假御所、興御殿約百八十坪純日本建平屋で、皇太子殿下の御座所のほかに御居間一室が設けられ、いづれは義宮様が御移り給ふ御豫定と承る、御座所は十疊の御殿風の日本間で、床の間に設けられた御裝飾など極めて御質素に拜察されてゐる、御壁紙も淡緑色の靜かな造りであるが、御遊戯室は約三十二坪の板の間で他に謁見室、御修學室、御談話室、御日拜室、御客室などがあり、御客室は天皇、皇后兩陛下行幸啓の砌り入御あそばす御室と承る、御日拜室には　天皇、皇后兩陛下の御眞影を奉安し毎朝御拜禮あそばされ、又伊勢神宮をはじめ御歴代皇靈を御遙拜あそばす御室の由に承る

第七十議會

新装成つた新議事堂で
あす召集日を迎ふ
衆議院各派はけふ議員總會を開催
陣容を整備氣勢をあぐ

【東京電話】第七十議會は二十四日を以て新装なつた新議事堂において意義深き召集日を迎へることとなつた、現内閣成立の通常議會として二・二六事件の直後を受けた去る五月の臨時議會と異り、超非常時一ヶ年を經過した今日だけに内外の重要議案はまさに山積、庶政一新を標榜してこれに對處した廣田内閣の業績に相當深刻な批判が下されるだらう、この情勢下において議事堂移轉と共に我國將來の政治史上重要な一頁を占むべき重要議會は將に開かれんとしてゐる、これに先立ち衆議院各派は民政黨を始め各派とも二十三日それぞれ各本部において議員總會を開き、議會に臨むべき陣容を整備して大いに氣勢をあげることとなつた、而して年内の議會は慣例の行事だけで休會となり、明春の休會明けをまつて本格的論戰に入るが、特異性に富む今議會の重要性から論戰(?)一入深いものがある

各派の議員總會

民政

【東京電話】民政黨では二十三日午後二時本部に議員總會を開き、町田總裁、櫻木、小川兩總務出席、櫻内顧問、頼母木、永井幹事長外所屬兩院議員二百三十餘名出席、先づ松村義一郎氏議長席につき議員總會正副會長の選擧を議題として斯波貞吉氏の動議により總裁指名を以て正副會長を決定、最上幹事會派交渉經過を報告し議事に入り、院内總務は總裁指名、院内幹事、全院委員長、常任委員長に常任委員候補者は院内總務に一任、よつて町田總裁より院内總務を指名して小泉主任總務が院内役員を代表して挨拶をなし同三時散會、引續き四時より丸の内中央亭において議員懇談會を開き席上院内幹事の指名あり、永井幹事長より激勵の演説あり議事を閉ぢ同六時散會

政友

【東京電話】政友會では二十三日本部において議員總會を開催、引續き代議士會を開き黨員の奮起を促し、政黨陣營強化の急務を掲げ政戰に全力を傾注せしめた、この日午前十一時總務會、午後零時半幹部會を開き議員總會次第及び議會方針を決議したる後役員會に移り一同の協議をなし午後二時議員總會を二階大廣間に開會、鳩山總務以下各總務、川村芳次郎氏以下各顧問、前田、島田兩總務以下各政務官、安藤幹事長各幹事、所屬兩院議員など百九十名出席、先づ濱田總務を會長に推し所屬議員異動などに關する會務報告ありて後、鳩山總務は鈴木總裁代理として開かれる第七十議會に際し、黨員一致結束憲政有終の美を納めるため邁進せんことを望む旨挨拶を代讀、兩院下の重大議會の無事進行を期するため政友會の武器を三萬として會を閉ぢ、引續き代議士會に移り院内總務、院内幹事の選擧を行ひ[illegible]

樞密顧問官

南、田中兩氏を
奏薦に決定

【東京電話】政府は目下缺員中の樞密顧問官五名中二名を補充することとなり廣田首相、平沼樞密院議長協議の結果元遞信大臣南弘、元文部大臣田中隆三の兩氏を奏薦するに決定、二十三日午後平沼議長、廣田首相より内奏御裁可を仰いだ結果、宮中の御都合を伺ひ二十三日中に廣田首相侍立の上左の如く親任式を擧行されることとなつた

任樞密顧問官(各通)　正三位勳一等　田中隆三
正三位勳一等　南　弘

新顧問官親任式
あす御擧行

【東京電話】廣田首相は廿三日午前十一時半宮中に參内　天皇陛下に拜謁仰付けられ缺員中の樞密顧問官二名を決定南弘、田中隆三兩氏を内奏御裁可を仰ぎ退下したが新顧問官の親任式は二十四日午前十一時宮中鳳凰の間において擧行せられることになつた

ある前南京政府行政院長汪精衛氏は二十二日午後イタリーゼノア出帆の汽船で上海に向け歸國の途に就いた、氏は出發に際し往訪の記者に左の如く語る(寫眞は汪精衛氏)

危局を脱するやう
努力する覺悟
ゼノア出帆に際して
汪精衛氏は語る

【ゼノア廿二日同盟】故國の慶事を聞んで歸國の準備を進めて

支那は過去數年の間國内的困難と外敵の侵略に直面しつゝ獨立を維持するため最終的犠牲に備へるべく國内の整備に當つて先く苦闘を續けて來た、その結果若干の進歩を達成したことは現に緩遠に於ける外敵の侵略を防止して來た事實が之を物語つてゐる、今や我々支那人は共通の目的を達成するために鞏固なる團結に向つて努力すべき秋である、然るに突如西安に起つた兵變は法律秩序並に軍の紀律を亂すに至つた

兵變の犧牲者
約一千名か
極めて大仕掛のもの

【上海廿三日同盟】支那側發表によれば十二日西安事變勃發すると共に臨潼、渭南兩地でも兵變起り兵士は極めて大仕掛のもので今次兵變の犧牲者はその數數百乃至一千名に上ると近安附近の機關及各地は凄慘な修羅場を展開し、西安、渭南兩縣長、臨潼その他市長多數が叛兵のため殺害され、西安[illegible]ことが判明した

本府の主張通り
税制改正決る
五百九萬圓の歳入増

中央政府の部分的税制改革に關して本府は既に一昨年税制整理を斷行し、然も現在の情勢では増税の必要を認めないから、内外税制統制上から考慮する方針で大藏、拓務兩省と折衝中の處大體本府の主張通り決定した、即ち第一種所得税の引上、資本利子税の増徴、第三種所得の綜合課税の外ガソリン消費税、外國貿易統制税、輸出統制税、外貨債特別税、法人財産税の五種を新設し、結局これにより五百九萬圓の歳入増加となるが、うち最も大きなものは第一種所得税の引上によるものと、新設の法人財産税三百五十萬圓で法人財産税を除く四新設税約百萬圓、第三種所得税の綜合課税二十萬圓、資本利子税その他によるものである

この

事件は多大の努力によつて築かれた支那の進歩を脅かし國民を一層深刻な内憂外患に陥れしめた、外敵の侵略に對して所から方法に依つて抵抗しようと主張するのは恰も車を北方に向けながら南に進めやうとするに等しい、支那が國家の統一と進歩に成功するには蔣介石氏の指導に仰ぐこと大である、故に支那國民は蔣介石氏の安全を保障し氏が速かに自由の身となる爲最善の努力を拂ふべきである

余は

中央政府の招電に依り歸國することとなつたが、鞏固の上に同僚と力を合せ祖國を現實の危機から脱せしめる爲努力する覺悟である

C級巡洋艦五隻保有
英が正式決定
日米兩政府に通告

【ロンドン廿二日同盟】イギリス政府のC級巡洋艦五隻保有につき日米兩國政府の内意を照會した結果、好意的回答を接受したので愈よ正式にロンドン條約第二十一條のエスカレーター條項を援用することに決定し、二十二日午後日米兩國大使館を通じ日米兩國政府に左の如く通告した

イギリス政府はロンドン條約第二十一條のエスカレーター條項を援用し、艦齡を超過せるC級巡洋艦五隻を保有し至帝の保護に對抗出來る樣特に防空施設を充實する

C級巡洋艦は現在六時砲を搭載してゐるが、イギリス政府は今後備砲口徑を縮少し且行動半徑を自制して裝甲を充實し、以て空襲に備へる方針と見られる

◇信原聖氏(朝鮮總督府專賣局事業課長) 歐米視察出張族歩のため二十三日本社來訪、なほ廿六日午後四時京城驛發、一月廿三日門司出航八月末日歸任の豫定

天地玄黄

鮮滿一如の大衆的政治を近調に、生活感觸に觸れた新方策樹立。南總督の大本
×
半島二千三百萬民衆の明朗生活の建設強化の第一歩はいよいよ二千五百九十六年から
×
半島警察陣の强化は心強し
×
警察陣の強化も嬉しければ、保護政策による精神強化は更に嬉し
×
防空防護陣は訓練第一と知れ府民は進んで訓練に當るの熱意を示せ
×
外國人土地法朝鮮にも施行決定は宜し。九味浦に九十九ヶ年の租借地のあることを知つてゐる人は餘りあるまい

本日朝刊共廿頁

英アヂザベバ
總領事館設置

【ロンドン二十一日同盟】イギリス政府はアヂスアベバ駐劄公使館を撤收し新に總領事館を設置するに決定し二十二日イタリー政府に通告した

水野大佐入城

鎮海要港部參謀長水野準一大佐は新任挨拶のため廿三日午前八時入城、本府、軍司令部その他を訪問した(寫眞中央は水野大佐、右は東郷中佐、[illegible])

社大

【東京電話】社會大衆黨は二十三日午後一時より本部に議員總會を開き、麻生書記長以下各代議士出席、對議會策を決定し野黨的立場を堅持しの決意を固めて三時散會、なほ四時より三議會に臨む陣容を整へ非常時議會に對處すべき不動の布陣と不退轉の決意を固めて院内は勿論院外とも緊密な連絡をとり、院外代表と常に呼應し廣田内閣打倒並に國民生活擁護に對する反對を申合せ、更に大會決定の各種事項の院内役員その他を決定四時散會した

國同

【東京電話】國民同盟は二十三日午後三時より丸ノ内本部に議員總會を開き安達總裁、清瀬幹事長以下所屬衆兩院議員出席、清瀬幹事長より[illegible]

一人一話
變つたものだ
◇—高尾甚造

朝鮮の社會狀勢も變つたものだネ、僕が神尾學務課長の時代若輩の一事務官として在任してゐた時代に例の一面一校計畫を確立したのだが、課長を初め課員は苦心したネ、あの時代から思ふと變つたものだよ、今度學務課長になつて來て見ると一面一校計畫は完成してしまつて、一面二校といふか初等學校倍加計畫が出來てゐるのを見て驚いてゐる、これはかりではない、學務關係の仕事が順調に運び當時から見ると仕事は樂になつてゐるばかりでなく、積極的に仕事が出來るのは愉快だよ、あれから永いこと警察畑に轉向してゐたので今度來てからは樣子が分らず一年生から勉強のやり直した(寫眞は高尾本府學務課長)

昭和會

【東京電話】昭和會は二十三日午前十時より丸ノ内會館に幹事會を開き望月、山崎兩長老、伊坂、西本、飯村、春名、國口各幹事出席對議會策を協議したが、引續き同十時半より議員總會を開き望月長老より一切の役員を指名承認を求め對議會方針を決定したる後、正午より同館における兩長老招待の午餐會に臨んだ、後に院内役員の選擧に入り總裁指名の下に院内總務、幹事各一名を任命し三時半散會、一同は丸ノ内會館における總裁の招宴に臨んだ

[illegible]經驗ありたる後安達總裁並に國民同盟の[illegible]つて政治外交に亙る現內閣の失敗をあげ、組閣當初における庶政一新の聲明は何等實現しなかつた點を强調し、廣田内閣の速かなる退陣を要望する旨の演説をなし、[illegible]

民政黨新院内役員

【東京電話】民政黨の院内役員は二十三日左の如く決定した
院内主任總務　小原又次郎
院内總務
土屋清三郎　清水留三郎
内ケ崎作三郎　深田利吉
松田正一　小山谷藏
酒井徹太郎　三好榮次郎
議員總會長　斯波貞吉
同　副會長　佐藤謙之輔
川崎守治郎

鐵道局辭令(廿三日附)

廿三日は▲巨連驛長小梅富一郎▲命群山驛貨物主任▲元山驛助役上田重▲命巨連驛長▲欽谷驛長下津華義▲命元山驛助役▲城津列車區助手高塚直▲命欽谷驛長

(139) 男殿様(?)
邦枝完二作　神保朋世繪
夜風 (八)

「おッと御念和尚、もう歸るのか。」
「歸る。」
「さう急ぐこたアあるめえ。ついでのことにもうちつと探してみたらどんなもんだの。」
「縁起でもねえ。こんなケチのついた時ア、またどんな事が起るか知れたもんぢやねえから、ちつとも速く寺へ歸つて、蒸事はあしたの朝ンなつて蒔き直しだ。だがおれも焼が廻つたなア。あんな小僧に出し抜かれて、逃げられてしまふたアみつともなさ過ぎて、町や森山に會はせる面がねえや。」
「先ア逃げてえ一心だ。おめへの手落ツてわけぢやアねえから、さう投げるにや及ぶめえ。あしたはあしたの風が吹くつてえから、一晩寢れやアすたいゝ考へが浮ばア」
「はい。」
お藤の足は押入の方へ近寄つた。
「出ちやん。」
「はい。」
「もう大丈夫だから、こつちへおいでよ。」
「はい。」
「さうだ。中にや手摺はなかつたんだね。直ぐにあたしが開けてやるよ。」
がらりとお藤が開けた押入れの中から、ほつとしたやうに庄吉が顔を出した。
「小父さん。——」
「まアいいからあわてなさんな。おれアおめへをどうしようツてんぢやアねえ。柳念坊主もゐなくなつたし、何ひとつ気にする事アねえから、こつちへ來てゆつくりあたるがいい。」
「はい」

な。——もうちつと話し込んでッたらどうだ。」
「止さう——あばよ」
「ちやア行きねえ。」
辰吉は引き止めるやうにして帰手を探つてゐた儀兵衛は、御念がまつたく庄吉の押入れにゐるのに氣付かぬらしいのを感じると、出て行く後ろ姿を見送りながらニヤリと笑つた。
「ふゝゝ、いつぱしの惡徒がつてるくせに、からきし隙ロやねえ奴だ。——おい、お藤、庄どんをこつちへ出してやンねえ」
「大丈夫かねえ。」
「大丈夫金の脇差だ。」
「だけどまだそこいらに立つて、聞いてやしないかしら。」
「こつちを怪しンでるわけぢやアなしよ。そんな潜アあるめえ。」
「でもあたしや念のために、一度おもてを見てくるよ。」
そのまま立上つたお藤は土間へ降り立つと、密かに雨戸を開けて外の樣子を窺いてゐたが、今度は雨戸に心張をかけて戻つて來た。
「どうだ。誰もゐやアしめえ。」
「ゐないよ。」
「だから早く開けてやンねえッて」

それでも庄吉は邊りを見廻しながら、恐る恐る爐の傍へ膝行寄つた。
「だが庄どん、不思議なことがあるもんだなア。柳念和尚が人間を拾つて來たと云つたが、まさかおめへを連れて、戻つて來やうたア思はなかつた。いつてみどうしたいきさつでこんなことになつたのか、そいつを聞かしてもらはうぢやないか。」
「それはあの……。」
「何も隠しだてをするこたアありやアしねえ。はつきり有樣に云ふがいい。事と次第に因つちやア、おれも柳念との約束を反古にしても、おめへの味方になつてやるぜ。」
「はい有難うございます。」
「たゞ、有難いだけぢやア物らねえ。どうしたことから柳念に捕まつたんだ。」
「お店のお嬢様を救ひ出して、根岸への行き道でございます。」
「なにお店のお嬢様を救ひ出したと。さうしてそれやア何處から救ひ出したんだ。」
「はい。それはどうぞ聞かないで下さいまし。」

五ケ年の増車計畫は 明年度から着手

一千三百萬圓で新造と改造

總額六千五百萬圓にのぼる鐵道局の車輛增備五ケ年計畫、そのトップを切る明年度の車輛新造は總額一千三百萬圓で機關車五百萬圓、客車二百四十萬圓、貨車四百萬圓、車輛改造百六十萬圓で新造並に改造に着手することになつた

招く雪の金剛

內金剛、溫井嶺から溫井里へ 絶好のスキーコースです

鐵道局では冬雪の內外金剛山を縱走するスキーコースの指導標設置とコースの積雪狀況調査のため、局內スキー部員植田、吉田兩氏を特派したが廿二日歸城した、兩氏の報告によると

積雪狀況は 內金剛から溫井里に抜けるコースは平均一米の積雪で同コースを縱走するには內金剛から四仙橋まで徒歩、四仙橋、鳴鏡臺を經て溫井嶺の毘盧峰を越え九成洞溪谷を經て龍馬石小屋に下つて一泊、翌日は龍馬石から九成洞を經て通田に下り（途中、頬陽嶺のかゝみと獅子嶼の通越しはスキーを外す）溫井嶺を經て溫井里に下るもので四仙橋、龍馬石、通田の各旅館ではシーズン中

番人が居殘 りスキー客の宿泊に備へることになつてゐる、なほ動石洞、外金剛スキー場も約一米の積雪で廿五日頃りがスキーに絶好のコンヂションである

急行列車が進入の際 羅津驛で大衝突

ポイントの入れ違ひから 脫線破損して怪我人を出す

廿一日午後二時五十二分北鮮鐵道羅津驛構內へ廿一日午後京城を出發した急行第五〇七列車が進入の際、ポイントの入れ違いから入替へ中の京城行急行第五〇八列車と

正面大衝突 兩列車の機關車は破損し、第五〇八列車の前部三等車一輛及第五〇八列車の手荷物、郵便車は何れも脫線した

て大破、第五〇八列車の機關助手戶根阿太郎氏は左足に裂傷、第五〇七列車の乘務員金巳剛氏は胸部に打撲の重傷を負つた、これがため京城行

急行 第五〇八列車は一時間廿分遲れて漸く發車した

一ノ一〇機關手森氏は右腕をそれぞれ負傷

けふの佳き日 壽ぐ神宮のお祭

南總督夫人ら參拜

皇太子殿下の御降誕遊ばされた記念日——二十三日は日之御子の祝ひ日として全國民擧つて佳き日を壽き奉祭の御祭を祝ひ奉り、愛國婦人會、國防婦人會が一つとなつて朝鮮神宮奉賛殿で午前十一時から南總督夫人、久子夫人をはじめ本府各局長夫人、愛國婦人、國防婦人、教化婦盟など婦人團體代表者約三百名參列、雅樂の音も妙に皇太子殿下御安泰の祈願祭を嚴かに執行、御神樂の奉納などあつて正午過ぎ式を修了した、また一方龍光所、育兒院、孤兒院等では慰安會を催し國旗、お菓子袋を贈つて慈愛の手を延べ、いたいけな第二の國民の胸裡に佳き日の意義を植ゑつけ、各初等學校では奉祝式が、萬万の祈禱の聖壽萬歲が叫ばれ、赤誠をこめて祝し奉つた（寫眞は各夫人達の參拜、中央は本部長南總督夫人）

情味豊な苦勞人

初代所長の堤檢事

京城觀察所の初代所長、京城覆審法院檢事堤良明氏は熊本縣の人、帝大卒業後司法官となり中途でそれをやめて辯護士に轉身、勞働運動華やかなりし頃には勞働組合の顧問、辯護士としてわが國初期の勞働運動をリードしたほかゼネヴァの國際會議へ派遣して活躍したといふ經歷を持ち再び司法界に返り咲いたが道草さへ食はなければとうに復審法院長か檢事長位にはなつてゐる人だ、朝鮮での初役は仁川法院支廳で同支廳の廢止と同時に本部支廳に轉じ去る十一月下旬京城覆審法院に榮轉して來たばかり、本部時代には公職者を片つ端から槍玉に上げて鬼檢事こゝにありの概を示した、しかし彼らに峻嚴なばかりではない、秋霜烈日のうちにも暖々たる溫情を藏し甘酸いも甘いも嚙み分けた苦勞人さあり勞働組合顧問時代みつちり研究した甲斐あつてマルクスや共産主義に對する造詣も深いから思想犯人を保護善導する觀察所長としては蓋し適任であらう

歲末同情金 小林、櫻井兩氏

歲末同情週間に京城明治町一ノ一〇小林宗男氏は五百圓を同明治町

迷宮・三中井の怪盜

有力容疑者擧がる

怪青年を釜山署捕ふ

去る十一月廿七日の夜歲末大賣出しの雜沓を狙つて大膽にも大京城の動脈本町一丁目三中井商店六階の賃金計算部に忍入り時價六千圓の賃金箱を通り魔の如く悠々と盜み去つた怪盜事件は各署の警戒陣を緊張せしめ以來犯人搜査に努めたるも杳としてその正體を摑み得ず漸く迷宮に入りかけてゐた折柄廿一日夜關釜連絡船に乘込まんとする紳士風の男に不審を感じた釜山署員が連行取調べると、最初は口を緘して何も語らなかつたが鋭い追究となつて來たのでその疑を解くべく釜山署では既に内偵し廿三日京城本町署へその犯行手口等を照會すると共に東大門署へ身元照會をして來たので兩署でも直にこれの結果京城鐘路四の一三八金某氏の長男金供述（二〇）で取調べが進むにつれ三中井の怪盜嫌疑が濃厚の如く、廿一日取調へが進み釜山署からの吉報を待つてゐる

若い女質入客

夫婦愛に破れて自暴自棄

遂にお目見得どろ

廿二日夜十時ごろ鐘路六丁目某質店で皮帶用の純金バックル時價百圓のものや銀指、金メダルなどを入質せんとする女があつた、折柄臨檢に來た東大門署員が怪しみ取調べたところ李姓女（二三）といひ、開城で自動車運轉手某と同棲中男が他に女を作つたのを恨み京城に出て與無女工となつて働いてゐたが、夫を忘れかねて自暴自棄となり、去る五月十四圓の窃盜を働いて微罪放免になつたにも拘らずその後お目見得詐欺を働き、廿二日も太平通り某富豪宅に女中に住込み前記の品を窃取逃走、入質せんとしたものと判明した

約三割は 不健康

新町遊廓の 朝鮮側娼妓

ボーナスの花も咲いた昨今の師走の街はとても活況を呈してゐるが中にも新町遊廓をはじめ並木町、西四軒町等の廓は大繁昌、漸く遊客

朝鮮鰻の蒲燒

米國へ洋行

海外同胞に大好評

△△△布哇やアメリカで働いてゐる同胞から朝鮮産の鰻の蒲燒はとても美味しいとの評判があるので、鰻の産地咸南、金南の十四工場ではこれを缶詰にしてどしく海外に輸出することになつた

△△△本府商工課の調べによると昭和十年度中に輸出した總額は八萬三千四百八十圓で一萬九千四百四十八打の蒲燒が海外に輸出してゐる日本人家庭の食卓を飾つた

△△△日本料理に憧れる在外日本人仲間では蒲燒の味覺を忘れかね、文字通り鰻上りに注文が増加してゐるので、本府商工課では朝鮮物産協會とはかつて、さらに輸出向きの優秀品を作り、蒲燒を通して海外に鮮産品の認識を與へることになつた

主婦泣かせの 僞外交員横行す

鍾路署、血眼で搜査

各家庭の主婦に歲末の京城鐘路街一帶には某紡績株式會社外交員と自稱する怪漢連が横行、無智な婦人を巧に誘ひ込み果ては金指輪まで入質させては契約金を詐取し廻り、その被害者達は夫にも打明けられずコツソリ警察へ泣き込む有様に、鍾路署では歲末警戒中の全署員を督勵、僞外交員等を一網打盡すべく血眼で搜査中である

なほ同署では各家庭へかかる證券外交員が訪れた場合は甘言に釣りこまれて直ぐ契約をせず一度その會社へ問合せの上契約するやう注意を與へてゐる

北鬥、今度は 女子普通燒く

【北青電話】廿三日午後一時ごろ咸南北青女子普通學校本館から發火、消火に努めたが遂に全燒した、北青では去る十一日朝公立小學校が放火に罹した折柄だけに或は放火ではないかと原因取調べ中

無錢飮食で 友人に奢る

京城本町三丁目ニコニコ食堂雇人李福鎭（二三）は廿二日午後五時ごろ黃龍房といふ友達を連れて京城昌信町六九〇飮食店李進弘さん方に飛込み四圓十錢の飮酒をなし友人を一足先に歸しておき自分は九時ごろ逃走せんとするところを東大門署員に檢擧された

釣り錢もろ共 店先で搔つ拂ひ

廿二日午後九時ごろ京城西大門町一ノ一二九雜貨商金在中さん方に臨機洋服を着た二十五、六歲の男が來て廿錢の靴下一足を買ひ「十圓だから釣りを先に出せ」といふので家元中君（一二）が釣り錢九圓八十錢を出して店先に置き他の客と話してゐた隙に件の男は釣り錢と靴下を拂つて逃走した、屆出により鍾路署で目下犯人搜査中

荷車泥棒 廿二日夜十時ごろ京城積南町で怪しげな男が材木を荷車に積み上げて行くのを歲末警戒線を張る西大門署員が發見取調べたところ平洞町七四李雨昊（二二）で中林町荷水組倉庫から荷車ぐるみ時價約九十圓を盜んで持歸る途中と判つて檢擧された

旅行者が多く 時間表賣切れ

好景氣の反映が內地行旅行者が非常に多く鐵道ビューロー等の鐵道案內や時間表が全部賣切れて旅行者をまごつかしてゐる

蓬萊町の火事 廿三日夜十一時ごろ京城蓬萊町四ノ一二九ゴム靴商の店員林承勳方の溫突の焚口の不備から出火たちまち同家を全燒して鎭火した、損害は三百圓位

珍らしやミイラ

直に城大に寄贈・研究中

廿二日夕方京城府外高陽郡里由一〇四無線基地で水道局人夫が水道工事中、打ちおろした鶴嘴の先から人間の顎がぽつかり現れた

驚いて東大門署に急報、署員が調べたところミイラの如く堅く化石した屍だつたので廿三日朝城大解剖學教室に寄贈、島助教授が調査研究中である、可成り新しいものであると同氏は語る

石炭の泥棒

配達人にご注意

燃料の盜難——昨今各家庭で石炭の需要が増加すると共に惡質な配達人のため被害を受ける家が續出、各署で嚴重取締つてゐる折柄、廿二日午後三時ごろ太平通京城府廳前道路から石炭車を曳いて出て來る

約三割は不健康（續）

てゐるが昨今の狀況は内地人側の方は衛生思想も普及し設備も良いのでほぼ良成績を示してゐるが一方四百名ばかりの朝鮮人側は極めて設備も不完全であり中には惡徳な雇主もあつて書入れは此の時ことばかり無理もさせてゐるところもあつて約三割は不健康狀態を示してゐるのにビツクリ、近日中に組合役員を呼出し設備改善と共に檢診使用を嚴重に遵守せて惡徳雇主を退治、廓の衛生陣を强化せしめる事になつた

メガネ 卸小賣 中村

校長先生を集め 入試方法を指示

京城府の學務當局

京城府內の公私立初等學校長八十二名を廿三日午後一時から府廳會議室に招集、過般本府學務局から通達された中等學校入學者選拔方法につき遺漏なきやう詳細な指示を行つた

商業校生徒の家出

木浦商業生徒金巳文君（一九）は去る十八日家出した、京城に向つた形跡があるので廿三日兩親から京城鍾路署に保護願が出た

郵便配達人に 感謝の贈り物

上道町居住者から

雨風も厭はずに一年中無休で個々の便りを配つて與れる飛脚さんに感謝をしようではないかと京城上道町（龍渠洞）住宅地の人達が間名で廿三日龍山郵便局の全集配人に防寒具と金一封を贈つた、殊に飛脚さん達「年賀狀配達には更に馬力をかけようぜ」と張り切つてゐる

中島さんの寄附 京城明治町二の一六一中島アイさんは亡父の忌明に際し金九十圓を府社會事業助成會へ寄附

朱乙に電話開通

咸北朱乙は益々發展の趨勢にあるので同地郵便所では廿九日から市內電話の交換業務を開始する

空巢・現場で捕る

江原道生れ住所不定崔昌錫（二七）假名＝は廿二日午後四時ごろ京城鍾路六ノ一二一〇李潤伊さん方で家人の不在を幸ひに忍び込み、箪笥を物色中を隣家の者に發見されその場で捕り、東大門署に突出された

廿三日朝の概況 支那内陸中江鎭付近及本邦中部に夫々高氣壓があつて全國殆ど之等高氣壓に掩はれ、低氣壓は遠く根室

遠田沖に小さいものがある丈です隨つて支那滿洲及朝鮮は引續き上天氣ですが、內地は殆ど曇つて北海道と東北地方の日本海沿岸は雪の處もあります、鮮內の氣溫は昨朝より一般に高く寒氣は少し緩みましたが平年に比しては未だ一、二度、中江鎭では十一度低目を示してゐます、只江陵、大邱、雄基では平年並又は二、三度の高目を示してゐます

京城地方【今晚】晴一時曇【明日】晴一時曇寒さは和ぐ

仁川地方【今晚】風弱く晴一時曇、寒氣和ぐ【明日】風弱く晴時々曇寒氣和ぐ

京城溫度（廿三日）最低零下七度七（廿三日）午前六時零下七度七正午零下一度二

全般天氣豫報（24）

地方	風	天氣
京畿忠北忠南	南乃至西の風氣溫昇る	晴れたり曇つたり
全北全南	北乃至東の風氣溫昇る	〃
慶北慶南	北乃至西の風氣溫昇る	晴
黃海平南	南東乃至南西の風氣溫昇る	始めは晴後に曇
平北咸南	西乃至北の風氣溫昇る	晴
江原咸南咸北	右同	〃

23日午前6時 天氣圖 (高 低 770 768 766 764 762 761 772)

跛も甚い片貿易
行きは空船歸りは超滿載
運賃の特割で統制
内鮮鐵道當局新政策評定

【釜山】釜山下關間の鐵道扱ひ貨物は内地から輸移入される朝鮮滿洲北支向けの貨物は年末に入るや俄然殺到する盛況で船腹不足の大混雜であるが釜山發復船の場合はトント閑散を續け、大型豪華の金剛丸その他の連絡船は何れも船艙ガラ空きのまゝ出帆する甚だしい片貿易となつてゐるのでこの跛行的の片荷狀態を調整するため鐵道省と朝鐵側が提携して先づ内地行貨物の大宗第一位にある鮮米の直通特割運賃を制定して釜山を中心とする集貨政策を實行することになり本局から大野副參事、山口書記、釜鐵中村營業主任、日笠山兩書記が廿三日午前九時から商工會議所で府内の荷主四十名、主要驛長二十名の打合會を催し直通特割運賃の運用について協議した

羅津府會（第四日目）
容易に議論盡きず
議事は足踏み
けふも持ち越し案件で論戰
十三件も殘して會期を延長

【羅津】府會（四日目）は二十日午後一時開會、前日來紛糾の焦點にある府臨時職員條例並に同勤勉手當支給條例を引續き上程審議に入り議長先づ府臨時職員の勤務狀態殊に季節による勞力過重の實情を說明して本條例起案に對して諒解を求め

▲吉原議員　唯今の議長の說明をきいて本案の主旨は當然過ぎるほど當然と思ふこの上附言して置きたいことは從事員が單に時間を經過すれば手當が貰へるといふ如き弊害を打破し要は監督者は實際の取扱上について嚴重注意を願ひ本修正案に賛成する

▲關井土木課長　從來と雖も注意して來たが今後は更に取扱上に注意する

と問答し柳瀨、陽地議員も運用上について希望して賛成するや反對した申學懿議員はいきり立ち本案は昨日既に一度否決されたものである是非撤回されたいと動議しまた〳〵紛糾は再燃せんとする空氣に山本議員は絕對賛成を表明して

私が商船に永年奉職した經驗によつて現業員と非現業員の勤務時間勞力時間は自ら區別されてゐる、例へば非現業員は土曜日になれば正午には退廳し夏が來ればドンといふ工合に季節々々によつて勤務時間に恩典があるに比し現業員は非常に氣の毒な勤務過重を強ひられてゐる

と說明し山田議員は採決を促したが同意無く、吉原・森重・柳瀨議員と逍議、關井番外の間に府吏員の職員につき二、三の質疑があつて、やつと採決に入るや申學懿議員一人依然として反對を叫んだが多數で可決、續いて羅津面街地計畫土地區劃整理事業第一區土地區劃整理費負擔金條例設定の件を上程、議員に移り關井番外より改正の要點を說明し柳瀨議員、關井番外間に規程第三條について質疑應答があつた後、山田議員より

規程第四條中の『特別の事情』の字句並に第十條の取扱上につき從來は議員公平を缺いでゐたと追及、關井番外當局を說明すれど山田議員承知せず更に第四條第二項の特別の事情なる字句は削除するか然らざれば府會に諮ることに修正されたいと益々追及またまた波瀾の兆見え議長素早くこの空氣を察知して午後二時四十分休憩となり

三時再開議長は番外の說明を補足して

整理の事務上から見ても萬止むを得ざる事情があり得ると思ふかゝる場合一々府會を招集することは却つて御手數を煩はすことになるから原案について御諒承願ひたい

▲山田議員　議長の說明によつて第四條の二項は大體了解出來たが第十條の規程による負擔金の賦課徵收に關して取扱上の緩慢は今後に於ても改められぬか

と詰め寄り申鉉奎議員は

本問題は申すまでもなく羅津建設上の重大問題である、在住地主は土地を抵當物件として銀行から借出して期限内に納付してゐるに拘らず不在住地主の大半は期限を厳守するどころか六ヶ月以上經過しても納めぬものがいくらもある

と八方に當り散らし今後府當局としては確固不動の定見をもつて取扱ひに當れと要請、尚ほ森重、辯護長治、柳瀨各議員と參與員との間に評價問題、委員制等につき質疑應答を重ねトンチンカンな議論も續出して議場は恰も座談會化したので休憩して四時十分再開、山田議員から緊急動議として議事進行を希望し採決を促し多數決で原案を可決し、續いて町洞總代規程を上程し森重議員より町總代待遇を力說し山田議員は附則の『發布の日より之を施行す』の字句につき質し議長より

新町名がつけられてゐるから府會にて決議すれば過去に遡つて任命したいと思ふ、待遇問題は考へぬでもないが純然たる府の名譽職扱ひにし物質的には考へぬ方がよいと思ふ何故なら動もすれば町總代が世間から誤解を招き折角の立派な人物を逃す虞れがあるとうまく掃て上げ

▲吉原議員　町總代をもう一段向上さして頂きたい即ち町内の民意上達の機關たらしめたら如何

▲議長　ご尤もな說で條例中に明記せずとも今後自然とその機運を醸成することに務めたい

▲仲西議員　第二條中に幹事三名以内とあるがこれでは少い

と洞町の例を示して修正を求め議長これを諮り五名以内に修正して可決し會期を延長して翌日は午前十時開會する旨議長より宣言し五時五分未決案十三件を殘して散會した

傍聽すゞめ

四日目（二十日）日程からみれば最終日であるが未審議十何件で遂に會期一日延長▲港灣以來論議の焦點となつたものを再檢討するとき火葬場使用料問題、屠場使用條例問題を初め町總代規程設定の件等一圓を下げろとか十錢二十錢上げろとか極めて微々たる問題のみ▲この分なら後一日で總る豫算問題をはじめ十三件の審議が難はしく▲ロートル闘士小山太郎君チヨイ〳〵議事進行を連呼するまではよいが可決案件に對して議長の處置に不審を訴へるなど心臟の强いこと▲最一流の闘士であり得べき森議長活君が副議長に當選したばつかりに緘口令布かれたも同然口をつぐむこと

お氣の毒

北鮮の冬は狂はぬ
氣溫も低く相當雪も積む
スキー場は招く

【城津】やつぱり北鮮だけは本格的の冬…白茂線の零下三十度は別として先日來各地の氣溫大同マイナス八度程度、それに近年稀れな大雪に見舞はれ積雪、五寸から八寸……白皚々、冬の裝ひは成つた……スキーヤーにとつてはいよ〳〵嬉しいシーズンが展き、かねて施設を急いでゐた明川スキー場のヒユッテも完成したので咸鏡では來る二十五日、同好者を集めて盛大な場開きを舉行する筈

六日間の大雪

【咸興】咸興ではさへ二十一日まで四日間、地は十六日から六日間も降り續いた咸南一帶の大雪に鐵道局の自動車交通杜絕してゐたが咸興惠城線は廿二日から漸く全線運轉を開始した

寄附地を繞る訴訟
全州府側に凱歌
見限りをつけた原告控訴を取下げ
半歲の抗爭大團圓

【全州】既報、全州府完山町金成讀氏が全州府を相手取り昭和四年全州面時代に驛前道路を開設した當時から今日まで無斷で自分の土地を道路に編入してゐることは不法行爲であり百八坪に對し四千二百圓を損害賠償として支拂へとの訴訟を起し、府と抗爭中の處府では

『當時の面長が原告と交渉の上金氏代理の名儀たる該地上に居住してゐた申光日氏の名儀で寄附の申出であり、そのため面では建物の移轉の名儀で二千四百圓を支拂つてをり、尙外に官有地を安價に賣却してやる等の便宜を與へてゐる位で決して不法に道路に編入したものでなく又不法行爲があつたとしても七年經過した今日三年の時效によつて損害賠償の義務は消滅したものである』

と抗抗したが、今夏全州地方法院で全州府が敗訴となり

『原告に對し三千六百圓を支拂ふべし』

といふ判決があり、道路行政の途行上一大問題を惹起したのである、が、府は更に久永、元俉營兩辯護士を代理人として控訴し二審に於ける第一回の口頭辯論當時から原告の請求を取り下げるか、又は訴への目的を變更するかといふことで延期二、三回に及び、結局道路を廢して土地を引き渡せ、使用料損害約三千六百圓を支拂ふべし

といふ訴へに變更し府では既に道路となつたものを原狀に回復することは不法である、時效の點では同樣損害賠償の義務は消滅したものである

と口頭辯論實に五回に及び、第六回の二十一日遂に原告に勝訴の見込みなしとして訴訟を取り下げることゝなり被告全州府もこれに同意し事件は全州府に凱歌があがつて、さしも府民注視の問題も半歲振りに落着した

强盜の荒稼ぎ
夫妻を洗濯棒で叩きのめし
悠々と金品を奪ふ

【海州】十九日午前二時頃瓮津郡道所面生檢里市場行商人李禮一さん（三〇）方に一名の怪漢侵入し主人と妻の金金山さん（二九）の頭部を洗濯棒で毆打し兩人を昏倒せしめた上室内を探し廻り現金三十圓と懷中時計等を强奪逃走した、目下瓮津署で犯人嚴探中被害者は兩人とも全治二週間の重傷である

密輸が發れて
阿片九千圓
惜し氣もなく捨て
犯人その儘雲隱れ

【新義州】去る二十日午後六時ごろ咸北城津郡鶴上面金俊烈（三）は阿片二十七貫約九千圓を京城から安東へ密輸の最中新義州署員に發見されいち早く現品を放置してそのまゝ逃走した、各方面に手配して搜査中

海州の怪火
虐待を怨む
從弟が放火

【海州】前報、去る三日夜海州郡瓮西面佳亭里金丘丁方から家人不在中に出火、同家一戶を全燒（損害約六百圓）したが當局ではこの怪火を放火と睨みその後探索を進めてゐたところ圖らずも右金丘丁從弟同里金應稚（三）が日頃の從兄の虐待を怨んでの仕業と判明、十二日犯人を逮捕以來嚴重取調べ中であつたがいよ〳〵犯罪事實明白となつたので廿二日海州地方法院檢事局へ身柄を送致した

惠山分會長後任難

【惠山鎭】前鄕軍分會長大畠良雄氏が今年二月大阪へ轉出後その後任は人選難で行惱みの狀態であつたが最近その椅子を狙つて相當暗中飛躍をなすものがあり成行きは注目

酌婦馴染客と服毒心中

【麗水】麗水旭町坂本小吉（二）東濱町海月樓酌婦蝶子（二）＝何れも假名＝は二十日午前七時頃同樓で猫イラズを多量嚥下して苦悶中を仲居が發見直に三角公醫の手當をうけたるが女は午前八時男は午後一時頃絕命した兩人は二年前から馴染を重ねてゐたもので女に前借金八百餘圓あつて思ふ儘に落籍すべく金策中であつたが金が出來ず悲觀して同朝六時頃突然病臥中の女を訪ね服毒したらしく女將及仲居に宛てた遺書によると死體を同じ場所に埋めるやう賴んでゐた

横領と窃盜

【安岳】年末警戒の網に引つかゝつた事件三つ…平壤橋口町金某錫（三）は安岳郡大遠面で自轉車を乘逃げして東倉で逮捕され安岳面新長里鄭昌現は坪井里の元明洙が市場に二十五圓の保管を賴まれたが翌日取りに行くと五圓しか預らぬと言ひ張り裁判沙汰になつて取調べの結果は妻の將下に匿してゐたこと判明、更に中野警部補は李雅事を伴ひ巡視の歸途猪島溫泉間の自動車中で十八九歲の學動不審男に注意中お客のポケットから金品を盜んだので下車と同時に引致し銀泉駐在所で取調べ中

忘年會歸りの男
三人組と出會ひ頭に衝突
斬つた加害者逃走

【釜山】廿一日午後十一時頃府内中島町米倉社員須賀藤太郎（三）が一杯機嫌で忘年會の歸途、寶水町三丁目の道路で三人連れの青年と衝突し柔道初段の腕で三對一の格鬪中突然相手の一人が刃物を揮つて腕に斬りつけ左耳横に長さ三寸深さ五分餘に達する重傷を負はせ、ひるむ隙に逃走、目下被害者は大坪外科で手當中であるが犯人は未だ逮捕されない

入營送別宴

【新安州】今回近衞師團中野電信隊に入營の山下民治郎君の送別會は廿一日午後五時半から料亭日の出で開催

忠北辭令（廿一日附）

任道警視（高等課）桑原金右衞門
同（七等）馬場英雄
補江界警察署長
任道立醫院書記兼道警部
命道立清州醫院在勤
同（清州署）石渡信太郎
命警察部衞生課勤務
任道警部兼道警部
道立醫院書記兼道警部
兼本官、專任道警部補、清州警察署長　宇田亮太郞
命清州署勤務
道警部補（沃川署）新澤好喜
同（警務課）加藤等
命警察部高等課勤務
同（清州署）濱砂義盛
命警察部警務課勤務
同（永同署）吉田治左衞門
命沃川署勤務
道巡查（槐山署）中土井克雄
任道警部補命永同署勤務

おとぼるーむ

◇……【鎭南浦】警察署の午後、久家警務主任『おい檢事さんの在否を聞いてくれ』とご命令

◇……さつそくきいた給仕クン『檢事さんは四、五ヶ所死盜の檢證に行つて不在ださうです』

◇……サア大變……どこから死盜が轉がり出した、忽ち金司法、小林保安、江川高等の各主任、額をあつめての評定

◇……ともかく『もう一遍きくに限る』で今度は直接警務主任が電話にかゝると『いやそんなことありません、下檢證です』で一同ヤレ〳〵

◇……そこで警務主任の久家さん『あゝこれで久家（苦が）ない』

趣味と學藝

神祕のインカ帝國
傳説に殘る古代南米文化
考古學的探究に鳥居博士が渡航

今からザッと九百年前、ペルーを中心に中南米に一大帝國を築き、その繁榮を謳はれたのがインカ帝國、しかし國破れて山河あり、今はただ洛陽に昔宿の遺蹟だけがペルーの一小都クスコに回顧されるのみである。そのインカ王國が育んだ文化—それは今世界の考古學界に殘された一つの大きな、そして興味ある問題となつてゐるが、その謎を解くべき白羽の矢が當つたのがわが日本—わが考古學の權威鳥居龍藏博士で、明春を期してこの神祕の扉を開くべく渡米する事になつた。

傳説によると、インカ帝國の建設者はマンコ・カパクといはれてゐる。このマンコ・カパクは西暦一〇四三年頃、その部衆を引きつれて豐沃な谷間の地帶に移り住み今のクスコに都を定め、その領土は實にペルーを中心としてチリ、アルゼンチン、コロンビア、エクアドルに亘り、總人口は約八百萬、行政上これを四分して支配したと傳へられ、道路法、建築、美術等非常な發展を遂げ、約五百年間に亘つて統治の隆盛を結んでゐたといふ。

アンデス山脈から太平洋岸に亘つて狹長の地帶に建てられた一大王國インカ—即ちインカといへば種族、或は國家のやうに考へられもするが、實際は王または皇帝を意味する尊稱で、これが種族名或は國家名となつたものであり、今日考古學界の謎に殘されてゐる點はインカ王族と民衆との人種關係、その發祥地及び當時代の文化などであるといはれてゐる。

ここにインカの神話がある。インカ帝國の主權インカに對する土人の崇拜は絶對的のもので、土人の信ずるところによると、インカは彼等を創造したマンコ・カパックの末裔で、マンコ・カパックは太陽の子であつた。そして萬物の創造者はワイラコチャと呼ばれる最高神であり英雄神であつた。

ワイラコチャは白皙長髯、長衣を纏ひ、手に杖をもち、アンデスの絶頂で太陽神の群に侍すると信じられ、金の吊紐で石を火中に投じたり、人間を石に化したりした。ペルー人が石を畏れ崇拜してゐるのはこの信仰から來てゐる。

遺蹟をめぐつて世界人の謎もが殘くのは、クスコの附近ピサクに殘る『インカの天文臺』であり、見事な彫飾をほどこしたペルーのトルーシヨ近くにあるチャン・チャンの遺蹟、または最も巧妙に近代的に築造されたといふピサックの要塞とか、其他、水道や道路の大規模な築造、ウルランタイタンボの山腹に横たはる壯大な宮址等であるといふ。それらは全て『石の大藝術』を偲ばせるものだらうである—

ここに怪傑フランシスコ・ピザロの登場となつて、インカ王國は滅亡する事になつた。一五三二年スペイン人たるピザロは大陸遠征隊を率ゐて、ペルーの北岸に上陸、時あたかもインカ王國ではアタハルパが第十四代の帝位に即いてゐた。彼は疾風迅雷的に兵を進めてこれを欺き、遂ひにこれを殺してしまつた。その後ワイナカパック帝の遺子マンコをインカの帝位に即かせたりしたが、一五三五年一月十八日今の首府リマを建設し、スペイン副王の地とし、かくしてインカ帝國の廣大な領土と文化とはピザロの惡辣な手段によつて完全にスペイン領となつたのである。その後約三百年を經て獨立を宣言し、ペルー共和國となつたのは西暦一八二〇年七月二十八日の事であと

インカの文明には東洋的の匂ひのするものが澤山あり、殊に食器類には彌生式、祝部式のものに近いのや、ギリシヤ式のやうなものもあつて、東半球の影響をうけてゐることがたしかである。我國の爬上り小舌器に似た人形黑色土器の如きは、何としても見逃せない考古の遺品であつて、入器、巨石建造、蛇體崇拜などの昔の習俗から見ても、新石器時代に黑潮によつて日本方面、印度、ネシヤ方面（馬來）の文化が輸入されたと說く歐米の學者もある程である。鳥居博士の觀察研究がこの點に於て重きをなすに至るであらうと見られてゐる。

理學者の手記から（2）
朝鮮のマラリアの種類
醫學博士　小林晴治郎

人間のマラリアには三種類ある（此に第四種、第五種を認める人もあるが、一番普通な說に從つて置く）三日熱、四日熱、熱帶熱の三つである。三日熱は隔日に熱が出るもので、最も普通で、且つ輕く分布し、隔日治癒し難い、四日熱は中二日置いて發熱するもので、分布は割合に限られて居る。熱帶熱は名の如く熱帶地方に多く、熱が不規則に毎日或は隔日熱が昇り、症狀が重く、腦症狀を起し、死亡率が高い。但し最も治療が困難と云ふのではない。

以前は、朝鮮では內地と同じく三日熱だけが流行して居ると考へられて居つた。媒介する蚊の種類から考へても之な事實らしく思へた。然るに數年前種々な四日熱患者が平壤南道及京城附近に稀ならざる事が知られ、更に本年に入つて、熱帶熱の患者數例が報告せられた。此三種のマラリアは血液檢査をすれば容易に三日熱と區別し得るもので、從來から存在して居たのならば、その發見が遅れたのが不思議と思はれる位である。マラリア及類似疾患の血液檢査が比較的等閑に附せられて居つたためとも思へる。各地の醫家各位の御注意を願ひ度い。そして斯く三種のマラリアが朝鮮に分布するとせば媒介蚊、豫防等で、自分等も以前の說を少し變更し、新に色々調査研究せねばならぬ事がある。

但し、マラリアの感染に忘れてならぬ一異常路がある。即ち人から人への直接感染である。誰も知つて居る如くマラリアは普通は必ず蚊（殊に其中のアノフェレス族）の媒介によるもので、この媒介は蚤や蝨、南京虫では代用せられぬ（アノフェレス蚊以外の吸血昆虫で、媒介されたと說く人があるが確證が無い、これは多分誤りであつて普通はアノフェレス蚊の刺螫に限る）。然し患者の血を直接健康者に接種すれば容易にマラリアは感染せしめ得る。麻痺狂のマラリア治療法に於て普通に行はれる方法である。故で、モヒ患者の如きがひそかに自分達でモヒ注射をする時一本の注射器を消毒せずして二人に用ゐる際、第一の人がマラリア患者である時は、之を第二の人に移す事は可能であつて米國等では實例が報告されて居る。

朝鮮のマラリア感染の特殊事情として此方法は除外出來ぬ樣である。然し、それにしても、根本には自然の蚊の感染による患者の存在がある譯であるから、四日熱患者や熱帶熱の患者が稀でなく見付かる點から朝鮮にも若干此等の種類のマラリアの流行があると考へてよろしからう、然りとすれば上文に說く如く、朝鮮のマラリアの流行も中々複雜なものとなる、其理由の第一は媒介蚊の種類問題である。

マラリアを媒介する蚊は勿論アノフェレス族であるが、アノフェレスには目下知られた種類が約百七十種程ある（亞種も獨立の種として算へて）此各種が三種のマラリアを同樣に媒介するのではない。媒介に適、不適が色々に違つて居る。或る種のアノフェレスは熱帶熱を媒介するに不適である。朝鮮に最も普通なアノフェレス、即支那ハマダラ蚊と云ふ種類は今迄の實驗では此例である。但し此種は四日熱の媒介は可能なりといふ實驗はある。然しながら朝鮮には上記の種以外に少くも三種のアノフェレス族がゐる事を城大衛生學教室の山田氏によつて確められて居る。其他にもあるらしい。是等の種類間にはマラリアの媒介に若異があり得べきである。各種の蚊と各種のマラリアとの間の關係、其相互の間の（マラリア同志、又蚊同志の間の）影響が、唯でさへ複雜なマラリア流行學を一層複雜にする。其關係は目下專門家によつて研究中である。

眞一の誤解に對して最後に一言を添へる。吾々はよく研究中と云ふ、之は研究未了の意味であるが完全に研究の終了する問題は割合に少いかと思ふ。それ迄は應用が出來ぬかといふに決してさうではない、其時迄の知識で最善と思はるる手段は何時でも準備して居なければならぬ。今序でに朝鮮のマラリアの豫防撲滅法を現今の知識で極めて簡單に述べれば

一、患者と診斷前では、早く確實に診斷して（2には顯微鏡の檢査を要する）十分に治療する（治療劑はキニーネ丈でなく、一層よい藥も出來て居る）服藥法には醫師に相談の事

二、媒介蚊の驅除として公衆衛生的方面では、蚊の發生地、殊にアノフェレス蚊發生地を調査し適當の施設をする事、之等は土地によつて異る事情がある、所謂適當なる施設は衛生當局の手腕を要する點である。水溜りに石油撒布等の簡單な事ではいかぬ場合が多い

三、一般人としては蚊に螫されぬ事、蚊帳は勿論であるが蚊いぶしも中々有效である、蚊に螫されるのを平氣になつては御仕舞ひである、衛生物學的方法等が朝鮮では之等は今少し研究を要する

向大體に生活が向上し、文化が進めば、マラリアは減るものである。之には實例が多く、其理由も分つて居る

海外十一消息

東洋の海軍國日本の生んだ海の勇將アドミラル・トーゴーの名は遠く南米にまで傳り、ブラジルでは既に「トーゴー」といふ煙草まで發賣されて居り又アルゼンチンでも在留邦人の間に於ける東郷神社建立資金募集に西國人からも續々寄附が集るといふ有樣であるが、ウルグワイ國にも去る八月創立された日ウ文化協會の事業として小笠原長生子の著、英文『東郷元帥傳』（ザ・ライフ・オブ・アドミラル・トーゴー）を同會理事で前駐日代理公使エドワルド・アルテアガ氏がスペイン語に翻譯、ウルグワイ國民の日本國民に對する深き尊敬を表す贈物として出版することになつた

酒の季節
醉はない秘訣
＝夫を酒嫌ひにさせる秘訣も御傳授＝
醫學博士　住江金之

酒席に出る時、醉はない秘訣といふものは種々あるが、最も信ずるに足る方法は、乾柿を臍に貼つておくと、連日連夜飲んでも不思議なほど醉はないといふことである。飲酒後柿の蔕を剥かして、これを嗅いでみると酒の香がプンプンするから、多分は酒の氣を柿が吸取るのだらうといはれてゐる。一個柿に臍を貼ることは、如何なる生理作用か知らないが、醉ひばかりでなく、船、車の醉ひにも效があるもので、船にある時に推拜を貼るが、推拜のかはりに梅干をやはり貼つても同樣の效がある。また船に乘つた時[illegible]と、醉を防ぐが效ある。

それはとも角、酒に醉はないためには鹽類を食つて行くなか〳〵效目があるが、生玉子を飲んで行くことも有效である。酒に醉はないために、こんな準備をするのでは飲酒家もまた辛いものである。

二日醉を醒すには、一番手輕なは床の中で、いはゆる迎ひ酒を一杯キューッとやつて、ほろ醉ひ加減となつて起きると、惡醉が醒める。迎ひ酒が嫌ひな人は「酒に[illegible]」を食ふと效くさうである。

昔から知られてゐる二日醉を醒ます方法としては、豆腐の湯豆をさかなに一杯飲むとか、小豆煮汁、柿の煮汁、すつぽんの血なども有效で、又按摩に腿を揉ませるなどもよいとのことで、飯、茶などは效がないといはれてゐる。

大醉堪へざる時には鮮菜に米を少し入れ煮て汁をとり、冷して飲めば效がある。酒に中つて吐瀉する時など、赤小豆の煮汁を徐々に飲めば止まる。

酒に中つて血が下る時には、鮒の酒煮を常に食へば效が多い。とに角、ひどく醉つた時など、決して水で冷してはならないことを知つておきたい。そんな時は生豆腐を塗りつけるのが一番よろしい。焼酎などに大醉して體溫を失つた時も、豆腐を溫めて體に塗るのが一番いゝと『本草綱目』に出てゐる。

さて酒嫌ひになる法であるが、飲酒家を夫にもつた夫人連中からよくきかされるところで、私が內證に敎へてやる酒嫌ひになる秘訣を披露しよう。

この方法は絶對に本人に知らせてはならない。それは朝の味噌汁に酒をまぜて食べさせるのであるが、酒の量は、はじめは一滴二滴から始め、毎日少しづゝ增やすやうにその邊は手際よくやることが大切である。段々酒の割合がふえると、遂には他所で酒を飲んでも味噌汁を思ひ出して、何となく味噌臭い氣がしてくる。いやになつてどうしても深山飲めなくなるものである

かうなれば占めたもので、酒をまぜないでも元にもどる心配はない。前に述べたやうに、本人に知らせては決して成功しない。又功をあせると必ず失敗する、根氣強く、少くとも三ケ月以上の辛棒が必要である

バックミラー

城大教授臨田晃策君の家に新しい女中が來たのは最近のことで、「奥樣、先生はどこへおいでになつたかと大學の事務室からお電話ですが」と聞いた時、夫人が「風邪で寢てゐるといひなさい」との返事に、女中氏が首を捻つたのも無理はない、この家に來てから一週間、主人といふ人の顔を見たことがないからで、ところがその晩、當の臨田君がひよつこり顔を出した。夫人が「あなた、こんどは何處でしたの」と聞くのへ「もよつと東京まで行つて來たよ」に、女中氏益々腑に落ちなかつたといふ。もう癖になつてゐる臨田君の旅行を輕く風邪だとあしらふ夫人の手並みも大したものだが……

杉本長夫氏出版記念會

京城法學專門學校講師杉本長夫氏の『E・A・ポオ譯詩集』出版記念會は廿二日午後七時から京城ホテルで開會、光眼知友百餘名が參集し、氏の努力を稱ひ將來の精進を希望し盛況裡に同十時散會した（寫眞は同會の記念撮影）

新刊紹介

▲國策大衆講座　第一卷（革新政治概觀　重要產業國策論　麻生久　片山哲）

國策は民衆のためのものでなくてはならない、然るに國策消極時代と稱せられる今日國策の何たるかを國民に示唆すべき指導書は何ものもなかつた。この意味に於て本講座の出現は劃期的な意義を持つてゐる。新刊二卷は既に刊行せられたるもので全十六講、六卷で完結する。著者は安部磯雄、龜井貫一郎、河上丈太郎、鈴木文治等々の諸士で何れも無產陣營の大先輩である（一圓、東京市神田區小川町二ノ一二人文社）

▲セルパン（一月號）三十錢、東京市麹町區三番町一第一書房

▲舞台（新年號）六十錢、東京市杉並區阿佐ヶ谷三ノ二八九舞台社

▲ダイヤグラム（一月號）四十錢、東京市京橋三ノ一ダイヤグラム社

▲歌劇時代（一月號）三十錢、東京市神田區司町一ノ四ノ三歌劇時代社

▲短歌研究（一月號）一圓、東京市芝區新橋七ノ一二改造社

▲貿菜往來（十二月號）五十錢、東京市牛込區通寺町三九貿菜往來社

▲運輸界（十二月號）五十錢、京城府花園町七九運輸通信社

▲朝鮮商工要覽調報（十一月號）十錢、京城府南大門通四ノ三五朝鮮商品調査研究會

▲朝鮮（十二月號）三十錢、朝鮮總督府

▲朝鮮遞信（十二月號）五十錢、朝鮮遞信協會

不連續線
父の年齡

「やあ、今日は」
「あら、小父さん」
「お父さんゐるの」
「えゝ、ゐますわ」
「呼んで下さい」
「はい、待つてゝね」
「OK」
「おゝ。どうした」
「いや。今日は」
「まあ。上り給へ」
「ありがたう」
「おい、春代。お茶を持つといで」
「はい」
「春代ちやんも大きくなつたね」
「うん」
「へ、小父さん。お茶を」
「いや。ありがたう」
「おい、春代。小父さんがね。お前のことを大きくなつたつて」
「來年は九つですもの」
「ね、春代ちやん。あなたのお父さんと、私と、どちらが年が上に見えますか」
「そんなこと、わからないわ」
「おい、春代。小父さんには髭があるが、お父さんにはないよ」
「ね。お孃さん。その代り、お父さんの頭には、白い毛が見えますものね」
「變なこといふなよ」
「お父さんの方が上か知ら」
「お父さんには髭がないのに」
「だつて、お髭が生えたくても、年をとつて、お顔の皮が厚くなつて、それで生えないのよ」
「ひどいことをいふ」
「感心。お歳暮を買ひませうね」

映畫・演藝・音樂
在城諸氏の見た　ことし見た映畫の印象（3）

◇關口仁（驛賣局）
一、「マヅルカ」
二、映畫でなければ表現出來ないものを吾々に示してくれた最初のこれは映畫である

◇山田新一（畫家）
一、罪と罰
二、崇高なる藝術の前に只頭を垂れました。時に罪と罰のみならず、最近連續的に上映される佛蘭西映畫を見ることは畫家としての私に大なる生甲斐を覺えさせてくれます。殊に『モスコーの一夜』『黑い瞳』『罪と罰』と引續いてのアルボールの名藝は佛蘭西の持つあらゆる文化と藝術の高さと深さとを傳へて餘す處無いとも言へるのではないでせうか

◇德永勤（醫師）
年に二三回しか映畫をのぞかない、私には批評も感想も述べられないのを遺憾に存じます

◇藤井誠一（朝鮮史編修官）
一、ジャンダークとゴルゴダの丘
二、映畫も政治の圈外にあるを許されなくなつたが、前者はファツシズム臭ぷんぷんとしてゐる藝術統制のゆくてを暗示する作品で、ヒトラー好みのフランスへの皮肉とカソリックへの挑戰。ゴルゴダの丘に於けるデュヴィヴィエの無批判的な宗教意識と對照されておもしろい、何れも群衆撮影に新機軸を出し、音樂のトーキー映畫への積極的參加をみた。次に來るものは俳優の演技に映畫性を獲得するとであらう、共に「映畫が政治理想の統制下にある以上今後によき映畫の出現を絶望せしめるに役立つた意味」で印象深い

◇岡稠松（本府）
一、地の果を行く
二、映畫國策がどうの各國映畫を白眼視しても、いゝものはいゝに違ひなく殘念ながら日本物にはこれに匹敵し得べき作品はありません

◇三木弘（畫家）
今年はとんとそれを見ません

NEWS　邦畫ニュース

◇P・C・L新進座提携第一回作品「戰國群盜傳」に三好十郎作詞、山田耕作作曲、新進座一同合唱の主題歌「野武士のコーラス」が出來コロムビア・レコードに吹込まれた
一、關八州の朝ぼらけ、家を望めばはるかなり、あゝ山林に檜を伏せ、駒も我が身も勇むかな、おゝら、われらが馬は行く、おゝら、われらが馬はゆく

◇―大船蒲田修道監督の年末封切作品「秋怨」（あきのうらみ）は桑野ますみ主演德大寺伸、坪內美子等で着々進捗してゐるがこれにはコロムビアとの提携により今流行の「暗い日曜日」が挿入されることになつた

サイレン

◇メーデー記念日に赤色廣場、赤城行進の中からフト普通の勞働歌とは違つた行進曲が聞えた、當時流行の「陽氣な連中」だつた、映畫陽氣な連中の主題歌蘇聯における流行ぶりは全く東京行進曲も語り娘も「忘れちや嫌よ」も遠く及ばぬ位

◇映畫「陽氣な連中」はソヴエート映畫の本道から逸脱したと云ふので可成り非難もあつたが集會があるとお定まりの「インタナショナル」の後は「陽氣な連中」だ

◇映畫が封切されてから十八ヶ月間たつてまだ東はウラジオから西はレニングラード、ウランゲル島のはてからトルクメンの高原地方に至るまでソヴエート國士がこのフシで充滿してゐる

◇まさに赤い國の「忘れちや嫌よ」といつた狀態

檢日誌

松竹キネマ・愛の一つ家▲大都・幻の修羅城▲同・孫悟空▲同・神州曼陀羅峽▲日活・彌次喜多

衛生口錠
口中殺菌劑
カオール
口より入る病を防ぎ
精神を爽快にする
一の豫防は百の治療に優る!!
飲食の後、外出の時、人込に居る時
等に是非共本劑の二三粒を
口中にして精神を爽快にし病
菌に侵されぬ樣御注意願ひます
カオールの配劑と其効用
製劑顧問 ドクトル 松尾 道
一、口中殺菌劑を配合す
從つて空氣又は飲食物と共に口腔より侵入し來る諸種の病原菌を口中に於て殺菌するが故に種々の傳染病を豫防す
二、健胃整腸劑を配合す
從つて胃を健全にし、且その消化力を亢進し食慾を増進せしめ下痢、腸カタル等に整腸劑は殺菌劑と相俟つてこれを治癒す。
三、興奮劑及強壯劑を配合す
從つて心身の疲勞衰弱したる時には各機能を興奮せしめ氣力を回復旺盛にし、健胃劑と相俟つて内臟の強壯を計らしむ。
四、清涼劑及美音劑を配合す
從つてその特有の芳香により口中の惡臭、惡感を除き祛痰劑は咽喉の乾燥を潤し、音聲を美化し、從つて精神を爽快ならしむ。
◎故に皆樣の保健の爲に
◇惡疫流行の時 ◇飲食の後
◇他人に接する時 ◇汽車電車に乘る時
◇執務勉強の時 ◇遠足運動の時
◇口中の臭き時 ◇酒食を召上る時
◇禁煙を望む時 ◇音聲を使ふ時
◇氣分惡しき時 ◇疲勞したる時
カオールの二三粒を口中されたし、本劑を口に含めば、マスクウガヒの必要なきと同時に心身を爽快にし、胃腸を健全になすの効あり
◎本日より直ちに
御常用をおすゝめ致します
▼定價と容量▲
袋入 （十錢） 百粒
同 （二十錢） 二百五十粒
ポケツト容器付 （三十錢） 三百粒
御勾玉形容器付 （五十錢） 五百粒
鞄形容器付 （五十錢） 五百粒
美術容器付 （五十錢） 五百粒
保健容器付 （五十錢） 五百粒
德用瓶入 （五十錢） 八百粒
同 （一圓） 二千二百粒
本舖 東京市日本橋區水天宮前
株式會社 安藤井筒堂
藥品部
AROMATIC CACHOUS
KAOL
TRADE-MARK
THROAT EASE AND BREATH PERFUME

粂平内

（33）

小金井蘆洲 演
福田勇 畫

主従の緣（九）

町奉行所へ出て來た平内と幸吉此處も何なく忍び込み、牢屋の前へ近づく事が出來た。

『幸吉、幸ひ牢番は居らぬやうだ早く娘を呼んで見よ。何處の牢にゐるのか判らんから……』

『へえ、承知しました。……お花く、兄の幸吉だ。』

牢の前に近づいて、小さな聲で呼んで見ると、眞中の牢より、

『おゝ、兄さん、此處ですよ。どうしてまアこの夜中に。』

『おう妹か默つてゐろ、今助け出してやら。』

錠に近づきもぎ取らうとした。けれどもなか／＼幸吉の力ではどうにもならない。見兼ねて平内が例の膂力で、錠に手をかけるや、うゝんと唸りながら、捻ち切つて了つた。

『さア、幸吉早く助け出せ、愚圖ちや遲いから、俺が背負つて立ち出でよう。』

と、平内は、挨拶する間もなく驚き呆れてゐるお花を背負ひ、そのまゝ獄門から忍び出て、飛ぶやうにして唯嘉屋五郎兵衛宅へ歸つて來た。

五郎兵衛宅では、安否如何にと睡もやらず待つてゐたが、三人無事に歸つて來たので、やう／＼安堵し、

『やア、先生御苦勞でございました。首尾よくまゐりやして結構です。してこの幸吉お花は何處へ匿しませう。』

『さうだ、他の者へではこの大阪にはとても置くわけにはゆかぬ。よつて俺の門弟、石州津和野の城下へ落し、三輪屋猪六といふ酒屋があるから、そこへ匿すことにしようと思ふがどうだらう。』

『いや、兎も角も先生のお考へ通りお願ひ申しやす』

平内は、そこで三輪屋猪六宛に書面を認め、

『親分、恐れ入るが路銀を二人に渡して頂きたい』

『へい、宜しうございます。』

五郎兵衛が十兩出して來た。平内は金子と手紙を幸吉に渡し、

『これを持つて、今夜の中にも石州津和野へ落ちるがよい。道中氣をつけてな。』

五郎兵衛も傍から、

『まア幸吉、當分大阪の土地へは足踏みする事ア出來ねえぞ。身體を大切にしろよ。』

『はい、若旦那様にも親分にも、大變お世話になりまして、御恩は一生忘れません。今度お目に掛ります時には、屹度今日の御恩報じをいたします。』

幸吉お花の兄妹は、嬉し涙にくれて厚く禮を述べ、頻りに名殘りを惜しんだが、平内、五郎兵衛に促されて、到頭、大阪の土地を永久に去つて了ひました。

さて、その翌日になると、杉山和太夫の邸、また町奉行所は上を下への大騷ぎ。犯人幸吉お花の行方を探索したが、皆目判らない。そこで平内も大いに安堵し、五郎兵衛の勸めに從つて宿屋を引拂ひ五郎兵衛の宅に厄介になり、劍術を敎へてみたが、何せ以前天下の名人荒木又右衛門吉村が元々仕込んだ上に、又も平内が丹精込めして敎へ込んだから、唯嘉屋五郎兵衛は、何れも勝れた腕前となり、俠客としては浪花の土地はいふまでもなく、近國近在に肩を並ぶ者は一人もないといふ程、名前を賣り出した。

『うむ、もうこれならば大丈夫だ』と、唯嘉屋五郎兵衛にもこの事を話し、五十兩の餞別を貰ひ、平内は大阪の土地を出立、江戸表へ乗込みました。時に寛永十三年春二月、平内長守二十二歳であつた。

京城日報
朝刊　夕刊共十六頁
創刊十五周年記念!
十五周年に際して　菊池寛
わが十五年前
愛讀の思ひ出
文藝春秋の歌　佐藤春夫
勅題　田家雪
學良の叛亂と南京政府
蔣介石を殺した?綏遠問題
外務省無能論
世界戰爭はもう始ってゐる
寺内陸相に呈する書
憲政の岐路に立ちて
日獨圍碁協定　鳩山一郎
戰争とラヂオ　成澤玲川
軍部と政黨
庶政一新三十億
スキー地案内
スキー隨筆
新年特別號　特價八十錢　文藝春秋社
文藝春秋
男は女に苦勞する　竹内逸
芥川賞受賞者　二大力作
ビンニラ物語　鶴田知也
生きる人　小田嶽夫
日獨防共協定と日本の將來　座談會
椿姫をめぐる　獅子文六
乗各自動車の客　大田黒元雄
冬　堀辰雄
心臟の問題　廣津和郎
非常時局一年を住みて
見よ堂々たるこの顔ぶれ!
特輯隨筆
議會と國民生活
獨逸主義の勝利
伊太利の素描
京のよもやま座談會
獨裁者の印象
三筋町界隈　齋藤茂吉
高野長英遺聞　入澤達吉
土器と指跡　永井潜
芭蕉と壽貞　頴原退藏
鳩　犬（動物隨筆）
作家ばかりの座談會
歌壇太平記
角界新人國記
人間菊池寛
九迷亭自傳
話の屑籠　菊池寛
山八金剛　クスリハ山岸
京城府本町一丁目　合資會社　山岸天佑堂
小兒科　永德
文具卸商　彰文堂
朝鮮貯蓄銀行
金　白金　銀　德力　京城明治町
港ホテル
主婦之友新年號
花嫁さん全集
主婦之友新年號附録
大豪華八百頁箱入大書籍
感激!驚嘆の大賣行!!
國寶的豪華附録　昭憲皇太后御歌色紙
別冊附録　動く繪本
第四附録　幸運ひとり占ひ
第五附録　カレンダー式献立料理
豪華傑作小說
五大豪華附録つき　八十錢
主婦之友社
大福運　参萬参千五百圓贈呈の大懸賞

社説

民衆生活の明朗強化

南大將は朝鮮總督に就任以來、所謂「不言實行」の權化として、その抱負經綸を着々實行に現し、能動的政治を行ひつゝあるが、殊に明年度に於ては、人口問題の離的解決策を多分に盛り込んだ統治方針を樹立、新興朝鮮の行くべき方向を明示する意向と傳へられてゐる。總督は就任以來半島各般の實情を討査研究の上、こゝに二千三百萬民衆の明朗生活を強調、實行すべき新方策を樹立、生活の實際に觸れた明朗な旗印の下に、全鮮一致、力強き建設工作に踏み出すことになつたことは、誠に慶ぶべきことであつて、今さら爰に喋々するの要はない。凡そ政治は理想を高く明示して、民衆をしてその據るところの大眼目を知らしめ、在的に意識せしめ、一面には廣く國際生活における國民の用意を國民生活の要所に近づいて、その福祉の増進に努むると共に、國民生活の全面的向上進展を期するのであるが、南總督が常に此の二面の指標を明示しつゝ、半島民衆に臨みつゝあることは、二千三百萬民衆の均しく感知せざるべからざることである。即ち爲政者の指標を理解するところなき民衆は、爲政の本義を容認すること能はず、從つてその効果の徹底を期するも困難となる。即ち政治は爲政者と民衆との相互の理解協調によつて圓滿なる進展を見るのである。

×

嘗てプロシャの宰相スタインは國民に向つて曰く、「國民が何を欲し何を求め何を爲さんとしつゝあるかを明確に知ることが、宰相としての予の義務であると同樣に、國民は予が何を爲し、何を欲し、何を求めんとしつゝあるかを、はつきり知ることが、國民の義務であるといふことを銘記して頂きたい」と、即ち民の心を知らずして正しき政治が行ひ得ないものであると同樣に、爲政者の心を知らずして、國政に參劃翼贊するといふことは至難の業である。スタインは又親く農村を遍歴して、農民の前に「プロシャのことは不肖スタインが全責任を負うて善處する。諸君は諸君の部落を榮えさせるために善處せよ」と説きて自治の強化に努めたのであるが、ドイツの自治制の發達は實にスタインのこの理想を高く掲げ、政治の運用を國民の要所から出發せしめたところに由來すると云はれてゐる。南總督が鮮滿一如の大スローガンを掲げて、今日の日本の國際的地位を明示し、半島爲政の動向を示し、半島民衆の國民としての用意と覺悟とを促すと共に、半島施政の新體制として、民衆生活の明朗化へ邁進せられんとすることは、極めて意義深きところであつて、國民はその含蓄を熟讀玩味するの要がある。然り民衆に誠意と熱心と生氣とがなくしては、如何なる善政も効果を發揮し得ない。半島民衆は深く總督の指標を考察すると共に、眞劍にこれに協力して成果を收めなければならぬ。

鐵鋼饑饉問題に 軍部でも重大關心
注目すべきその意向

【東京電話】最近の鐵鋼饑饉はつひに一部中小鑛物業者の原料購入難に波及し、漸く重大問題と化する情勢となり各方面から商工當局の鐵鋼政策確立の聲が揚るごとき實運となるに至つたが、右に對し軍部側も漸く關心を集中し初めた

即ち現在の鐵鋼饑饉は軍部にとつても重大問題でこれが緩和は緊急を要する、從つて當面の對策として外鐵の輸入を促進せしむるは勿論だが、一方供給不足の傾向が一層顯著に現はれる如き場合に於ては直ちに鐵鋼の供給統制を行ひ、軍需諸工場に對する優先的供給制度を施行するもやむなしとなして居り鐵鋼饑饉が一般軍需工業諸工場に對する供給へ波及するが如きは極力之を回避すべしとの意向である、將來軍部のかゝる意向は大いに注目される

鮮銀と商銀に 支店設置認可
新義州と惠山鎭

總督府財務局では産業助長と金融の圓滑をはかるため去る十一月に全南順天に殖産銀行支店を、十二月初旬には全南麗水に湖南銀行支店の設置を認可したが新義州に鮮銀支店、惠山鎭に商銀支店を設置認可するに内定した、なほ右の外咸北、京畿道内に二、三ヶ所の銀行支店を設置する豫定である

滿洲保税制の 周知徹底を圖る
貿協が業界へ呼かける

滿洲國内に於ける保税制度の實施方については豫て朝鮮貿易協會に於て滿洲國は元より總督府並に東京商工會議所、日滿實業協會等に陳情し極力運動中だつたがその希望は遂に實現し去る十二月一日より施行されるに至つた、これによつて從來多大の支障を釀してゐた日鮮滿の貨物輸送は劃期的な改革を招き

（一）輸送時間の短縮と確實
（二）通關手續の重複性の除去
（三）萬取引上の簡易化

等種々なる便宜を與へられると共に從來、滿洲國仕向に對する非難の點は殆ど一掃された感があるが然し右保税制度の實施内容については未だに廣く業者の諒むる處でなく、折角の福音も持腐れの狀態である關係から前記貿易協會では明年早々鐵道當局を始め京城税關朝鮮運送等の代表者を招致し座談會を開催するほか適當方法を講じて保税制度の精神と運用方法を普及徹底せしめることに決定した

濟州島漁組に 無線電信認可

全南濟州島漁業株式會社では執行の安全漁業事業及び漁船遭受のため無線電信施設を申請中の所二十三日附をもつて許可された

革命的な朝室の アセトン精米
將來は各地に精米工場

朝鮮澱粉は目下興南にアセトン製造工場を建設中であるが、右アセトンは主として精米用に供する譯で同時に精米工場をも建設中である。精米所は日産百石處理の能力で試驗的のものであるがこの試驗の成績如何によつては鮮内の各米穀集散地に精米所を建設する計畫である、アセトン精米の特徴は

一、胚芽の脱落防止
一、長期貯藏に堪へる
一、精米費の低廉

等といはれ、最も缺點とされてゐたアセトンの臭味も最近の試驗によつて完全に除去することを得たので、これが大規模の精米となれば在來の精米法に一大革命が生れる譯で、鮮内の各精米所もアセトン精米に轉換するが如き傾向を釀成するのではないかと期待されてゐる

短期強制貯藏 今年或は中止か
局課長の歸城後正式に決める

本年の米穀短期強制貯藏は豫て農林局に於て自治管理の關係上慎重に研究を進めてみたが、本年の米穀事情から右は中止せられる模樣である、これには農林局長、米穀課長、石塚技師等の歸任をまつて正式決定を見る譯であるが理由は左の如き本年の米穀事情に基くものである

一、各地出荷を見つゝあるも、出穀期に拘はず、寧ろ出穀が減少し精米の原料不足の狀況である
一、米價の低落の場合は自治管理が直ちに發動されるから別に強制貯藏の要を認める
一、直ち施行することも既に時期を逸せる形にある

三七年新車の 紐育ショウ
GM本社の豪華な催し

【ニューヨーク發】GM本社では去る十一月十一日より十八日に亘り紐育で世界的大自動車展覽會、紐育ショウを華々しく開催したが三七年新車の粹と豪華を一堂に集めた大盛觀であつた、毎年GM社の新車發表會と言へばアメリカの大年中行事になつてゐる程壓倒的な人氣を博してゐるが、取り分け本年は大規模の下に行はれたので滿堂の觀衆が豪華な三七年車を前に最大級の讚辭を送る盛況を呈した、尚日本GM社よりは右參觀と業界視察を兼ねて資本階告部長及び森田販賣副部長の兩氏が去る十月十五日夜大阪驛發渡米の途に上つたが、同氏等が新春早々の歸朝は我が業界に極めて明朗な刺戟を齎すものとして期待をもたれてゐる

夕刊後の市況

一寶物最終氣配　年末無相場觀筋行の折柄依然新人絹電力株に買氣揃頭人氣一轉期待され主力株も之を後援に強調朝鮮紡八〇圓丁朝鮮製錬二五圓丁ドレッチ鑛三〇圓六全羅鑛業所二〇圓八東拓四八圓八新二五圓丁日滿アルミ六五圓丁新二六圓丁日滿鹽業二八圓三圓一東亞纖維八四圓五新六六圓五滿洲化學四九圓丁東洋パルプ一六一大日本紡新四〇圓五鐘紡七六日本毛織四四圓五人造羊毛一二圓羽紡八八圓丁旭紡一二圓五昆布紡一四圓三第二帝人五九圓丁日レ新三三圓丁倉紡二新三〇圓三鐘帝人絹三八圓五東京人絹五七圓五新一五圓八昭和人絹三七圓五東邦人纖三〇圓丁

宇治電四五圓五大同電力四四圓六新一七圓三日本電力五〇圓三新一三圓三三菱鑛業一一五圓五新七八圓三磐城炭礦四〇圓丁新一八圓五北樺炭礦二七圓丁日石新五〇圓六北樺石油四四圓丁旭石油六二圓五新二四圓五品川白煉瓦七六圓六新三三圓六人造肥料新一四圓五電化新四八圓七日本曹達二九圓六大日本製鋼二五圓三豊田機械二二圓五エタペイ新一〇圓八日本アルミ五二圓八日本電工新二七圓三ディゼル工業一七圓一王子製紙新三八圓丁日産ゴム四九圓七日魯新三五圓四共同漁業新三七圓五

實物後場　朝鮮製錬二九圓丁ドレッチ鑛三一圓三大日本紡新四〇圓八全羅鑛業新二一圓丁東邦人纖三〇圓丁東京人絹九七圓丁人造羊毛一二圓三エタペイ新一一圓二市化新四八圓五（出來高一〇〇〇）

◇…朝取短期後場引

	引	高	安
朝取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日産	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日魯	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日鐵	——	[illegible]	[illegible]
日鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◇—大阪短期引際氣配

大新	六七、八〇	二〇高	
新鐘	一八三、三〇	不變	
日産	七六、五〇	四〇高	
新東	一四〇、〇〇	四〇安	

◇—横濱生絲後場引

當八七二、〇　先八三八、〇

◇—綿井人絹後場引

當七〇、二〇　先—

大阪人絹現物

	百二十番	百五十番
帝人	七一〇〇	六七〇〇
旭	六六〇〇	六四五〇
東洋	六九〇〇	六六五〇
昭和	六九〇〇	六六五〇

仁川穀物出入（廿一日）

▲總督玄米二、七、三一〇叺白米——同（二十キロ）一、〇〇〇袋大豆一、七五四叺籾六、四〇九石小麥二、七五四叺▲移出玄米二、五〇一叺白米五、二六三〇叺同（二十キロ）二八、九九八袋大豆八、八五〇叺小麥—

風水禍被害地方の 素晴しい復興振り
江原道から 池田林儀

京城から一瀉の自動車道路、道々としていかにも氣持ちがよい。京畿道の道路は半島十三道中でも、餘りいゝ方ではないが、この春川街道ばかりはなか／＼立派で、鉢數も相當出來てゐる。加平を過ぎて江原道に入ると、道路の面目が改まつて、江原道を甘く見てゐた人であつたなら、恐らく「江原道にもこんな立派な道路があるのか」と驚歎の聲を發するであらう。北漢江に沿うて蜿々として走り行く道は、野を切り山を縫うて、温泉地にでも進入して行くやうな氣分を味るほどに、變化の多い谿相と、果しなく連なる山々の翠と、冬澄むの淸い水の肚麗が身に迫るのを覺える。

×

官吏が江原道に任命されると、何となく山の奥に追ひやられるやうな氣がして、左遷されたかのやうに感じられるといふ、よし、それが、初任の場合であつても——

ところが、春川にゐる人々、また、春川にゐたことのある人々に就いて聽いて見ると、春川に來る時にはいやな氣持ちで來るのであるが、春川を去る時には堪へられない愛着の涙を以て別れるといふ。それほどに、春川は住心地のよい、人懷かしい、親しみの深い、そして山水の魅力に富んだところである。實際春川の明朗な環境と、和やかな氣分とは、一度この地を踏んで見ないことには味ひ得られないものである。

×

この平和な町を首都とする江原道も、今年は風水禍のためにひどく惱まされた。一度ならず二度迄もやられたのである。年々多少の風水禍に惱しめられないことはないとしても、今年の如き大慘禍は例が少く、その慘狀畏くも天聽に達し天皇皇后兩陛下に於せられては、罹災民の窮狀を御軫念遊ばされ、特に御救恤の資として兩度に亘り、多額の御内帑金を御下賜あらせられ、御親く侍從を御差遣に相成り、優渥なる聖旨を傳達せしめ給ひ、更に道内罹災地の實狀を視察せしめられ給ふた。天恩廣大、罹災民は勿論、道民及半島同胞を擧げて、眞に恐懼感激に堪へざるところである。

×

本道第一次風水害の被害激甚なる地方は、原州郡、横城郡、寧越郡、平昌郡、旌善郡の五郡であり、第二次風水害の被害激甚なる地方は、襄陽郡、江陵郡、高城郡、三陟郡、旌善郡、麟蹄郡の六郡である。第一次風水害は八月十二日に始まり、第二次風水害は同月二十八日に起つた。

風水害といへば、堤防にその慘狀を見たのは、東京荒川方面のそれと、洛東江沿岸のそれであるが、今度原州郡、横城郡、寧越郡等この地方一帶の被害地現場を訪ねて、全く別の世界を見るやうな氣がした。山地帶における水害の慘狀は、平地帶におけるそれとは全く異つてゐる。

一瞬に急角度を以て流出する激水は、山を崩し石を流し家屋を洗ひ、附近一帶の耕地と云はず道路と云はず、あらゆるものを根こそぎ洗つて土砂を殘し、跡には瓦礫の如き岩石ばかりが累々としてゐるのであるから、驚き呆れざるを得ない。

×

汽車などの時、鐵骨が飴のやうに熔けるといふ話があるが、鐵筋コンクリートの長橋が、兩端は中間を挾き取られ、兩端は飴をひねつたやうに捻れてゐるのを見た時には水が鐵骨を飴のやうに料理するといふ想を裏つた。以てその激烈な水勢を推察するに足ると思ふ。

×

風水害の慘禍もさることながらそれよりもわれらを驚ろかしたものは、これらの被害地方における復興作業の敏活なことであつた。罹災民の明朗にして元氣潑々、天と闘ふといつたやうな意氣で、土地を整理し、家を建て、耕地を整え、道路を修築する樣は、世にも輕しい構設であつた。

×

原州郡平庄里開岩斗鶴には、道內でも誇りの一つであつた模範部落があつた。それが一日にして荒され、家は流され、耕地は滅茶々々になり、部落民はわづかに身を以て難を避けたのであるが、風水一過の後、跡に殘されれた砂礫岩石ばかりの耕地を見て、彼等部落民はたゞ／＼泣いたといふ。

×

しかし、その涙の底から湧いて出て來たものは、强靭な復興への意氣であつた。彼等は勞を惜しみ互ひに相勵まし、家を造り、どん栗を拾ひ、來るべき冬への備へに取りかゝつた。

「今ではもう十分來春までの食料が出來ました。このどん栗の貯藏で冬を越すのです」と。穀物を失つた彼等は、どん栗で冬を越すのである。この米で野菜の高値の時、彼等が出穀の作物を失つたことは、いかにも氣の毒である。

×

同じく原州郡に與湖里といふ部落がある。一部落八十戸が全部洗ひ流されてしまつた、ところがその部落民は、水禍が去ると直ちに復興作業に取りかゝつた位置を少しく離れた他の地點に移して、そこに新たな部落を建設し、今では七十餘戸立派に出來上つてゐる、恐ろしい馬力である。

×

到るところで道當局をやつてゐるが、何れも至極元氣で、朗らかで、民謠や俗謠も賑々しい。

「どうです景氣がいゝでせう、實際これで助かります」罹災民が消氣てしまつたのではどうにもなりません、この元氣が復興を促進させるだけでなく、農村振興運動にも拍車をかけるのです」と案内の國根君が説明してくれた。この復舊の意氣は、道當局の指導宜しきを得たこと、農村青年の勤勞精神と、生活々動への自覺とに依つこと大なるものがある。そして、畏き邊りからの御内帑金の御下賜は一層彼等を感激奮起せしめた。

スポーツ

朝鮮體協改革への意見（上） 12
藤井秋夫

朝鮮體育協會が施設に惱んでゐるやうにも傳へられ、延いては朝鮮の運動界がどうなるのかといつた評判さへも起つてゐると聞かされることがある。然し私はそんなことは絶對に考へに入れ度くない。

フットボールに、バスケットに、スケートに、そして又陸上において オリムピック選手を送つた朝鮮のスポーツ界が、蹴球に、ラグビーに、野球に、更に武道に日本的存在を確立してゐる朝鮮のスポーツ界が毀ちにして没落するなんて誰が考へやうか？私は何よりも先づ朝鮮のスポーツ界は飛躍をつゞけ、何れは全日本を、最後には全世界をリードすることを信じ又その信念の許に朝鮮スポーツ界の將來を考へ度い。

朝鮮のスポーツ界は飛躍する、だが、これを統制する體育協會はどうか？從來とかくの批評が協會に與へられた、協會の存在價値さへ疑れることさへある。だが多少とも事情に通ずる人々は了解してくれるはずだ。從來の體育協會は率直に云へば舊式の存在で、一面では民間にその資金の大部分を仰いでゐた、實際の局にあたるべき人の地位が朝鮮體協の體育を統べるにはいさゝかどうかと思はれるものがあつた。體協の強化が叫ばれる所以も其處にある。

體育に關する限り殘念ながら朝鮮は内地に立遅れてゐる。學校體育にしろ、社會體育にしろまだ根本が確立してゐない。各スポーツ聯盟の當局者はそれ／＼異常の努力を拂つてゐる。然し各個人々々がどれほど努力を拂つたにしろ限られた財源で、限られた時間でやる仕事に萬全は期せられないことは最初から判つてゐる。今後はしつかりした根據、財源によつて仕事をして行かねば躍進する朝鮮のスポーツを助長し、統制することは困難だ。

スポーツ界の話題

◇トンダ蹴球大會　南洋英領ニューギニア土民の間では昔は蕃武の蠻風が盛んで部落間の鬪爭が絶えない有り樣であつたが、この「頭かしい傳統」を根絶するのにフットボールを獎勵して血の氣の多い土民達のエネルギーのはけ口とし、最近も政廳の肝入りでラバウルで大フットボール競技會を開催したが部落代表の土民選手達はすつかり戰鬪氣分になつてナイフピンのかけら摑刀等をしのばし見る見る中に本物の喧嘩になつてルールなどはなんのその双方から數十人の見物人まで加つて昔ながらの修羅場を演出してしまつた

KATEI カテイ

冬休み・子供はどうして過す

暮は家事の手傳ひ 正月は家に親しませる

だが火鉢に噛りつかせぬよう

年の暮と子供

東京市女子高等師範附屬小學校々長 久保田 氏談

正月が近づき、小學校の子供達もすぐ冬休みです師走はどこの家庭でも一年中で最も忙しい時ですから、子供にも家の手傳ひをさせるに最もよい時です。學校が休みになつたからと云つて無駄に遊ばせて置かず、掃除、赤ん坊の守、買物、商人の家ならば掛け取りに出すなど、子供にも何等かの一役を云ひつけて、仕事に從事させる方がよろしいと思ひます。將來社會に出た時に、社會の一員として、一つの役割りを分擔する精神を養ふやうに、休みを利用して家庭で仕向けて頂きたいのです

子供自身の頭で前から休みをどうすべきかと云へば、學校の休みは自由な天地でのびのびと活動させたいと云ひます、それには、條件として、自分で計畫して自分で實行して行くことになり、工夫と創作の能力を養はせるのです、例へばたこ上げをするにも、玩具屋から購めずに、自分で竹を削り紙を貼り繪を描くなど、自分でこしらへ上げるといふやうにして行きたいものです。或は學課の復習でも、たゞ教はつたものを暗記するばかりでなく、まとめてきちんと系統立て科學的に整理するなどが休み中になすべきことです。歳の暮は行事も總勘定の時ですから、子供の勉强も、そのつもりでやらせるはうがよいでせう

正月と子供

今の時代の缺陷の一つは、人間と人間との親みが次第に足りなくなつて來ることであります。平常はあまり口を利く事もない親と子或は親族同志が睦み合ふに正月は絶好の機會です。普段は一緒にならぬ階級的な別の生活をしてゐるもの達が、正月だけは平な生活をする時です。カルタ會をするもよし、家族合せもよし、親も子供になつて、一緒に遊んでもらひたいと思ひます

年始廻りなども、親と一緒に子供もつけてやりたいものですし、家へ年始客があつても子供を座へ出してやり、互に親み合ふことが必要です

家族が集まつた時に、我が家の祖先はどういふ方であつたか、と、色々のすぐれた事實や、自分の家がどんなふうにして現在に到つたかなどを、話してやることも正月にふさはしいでせう。子供の教育上にも、非常に有効なことだと思ひます

かうして家族や親戚と親ませると同時に休み中はなるべく戸外で遊ばせたい。學校が休みだからといつて、徒に火鉢の傍へかぢりついてゐたら、身體を弱くして終ひます

三學期の準備

次に、休み中の學課の勉强は、學年の最後の仕上げの季節である三學期を目前に控へてゐるのですから休み中も日課を定めて、勉强だけは缺かさせたいと思ひます。

それには、一、二學期に習つた處をよく整理して三學期が始まつても差支へなくさせると共に、更に進んでは、一つの課でも二つの課でも三學期に習ふやうにさせたいのです。下準備が充分ならば、今度はからもやらうといふ希望が湧いて來るものです。元日をのぞいては休み中も毎日すくなくも二時間づつは勉强させて下さい。無理なくらくに勉强させるといふ事が腕としての扱ひ方の上手下手です。子供の生活にこまかく干渉せず、大づかみに見てゐて、無理なく勝手なく生活させて行きたいものです

(黒)(豆) 軟く煮るには お正月の用意

黒豆一升、醤油一合、砂糖三百匁、鹽少々の材料を使つて……煮方は黒豆を洗つて水で六時間位煮る、この時、蓋をして煮ると豆の皮が彈力を失ひ、煮上げる前に破れて見苦しくなりますから蓋を去つて置きます、豆が充分に軟かに成つたら蒸器に入れて三十分間蒸します、(これは豆に含んで居る水分を取るため)次に砂糖に水六分を加へて煮溶かしそれをよく冷してから、前の豆を浸して一夜漬込んで置き、次の日に豆を笊に上げて汁氣を去り、その汁を半量位に煮詰めて冷し、再び豆に注ぎかけ醤油小匙二杯位を振り入れます

豆が固くなるのは、初め豆を水にする時の煮方が充分でない所に調味料を加へて、味の浸みるまゝ煮るから、そのために豆が縮まつて固く成つてしまふので又初めに充分渋の抜けるまで煮て置いても調味を加へて煮つると同じく固く成ります、調味料を加へては沸騰に煮てはならないのです

お正月の黒豆には紅ちよろぎ、氷滴糖の白煮、白滝小結びを振つて芽出度い料理にふさはしく飾ります(東京割烹女學校長秋穗敬子女史)

今年の想出を この一冊にアルバムして 上手な寫眞のはり方

●……愈々今年のカレンダーも殘り少くなつて來ました。去る年の華やかな想ひ出を美しいアルバムにキチンとしまひ込んでお置きになるなんて、如何にも女らしい好もしさではありませんか……。

●……アルバムは印畫保存上なるべく紙質の厚い上等なものをお選びなさい。紙質の悪いものは印畫に黴を作つたり、變色させる惧ひがあります。色紙は一緒に黒が多く使はれるやうですが、どつちかと言ふとクリームとか淡黒色の方が落着きがあつてよろしいでせう

●……印畫の貼り方は上部に一寸位糊をつける所謂天貼か、又はアート・コーナと云つて印畫の四隅を押えて貼る方が適切です。全部ベタ貼にすると、濕氣で糊が固つた時印畫を變色させるやうな事があります。印畫がそつて貼りにくいやうな場合は一度水に浸して、そりを取つてから貼るとキチンと出來上ります。

お歳暮やお年玉

遠方へ送る場合はこれだけの注意を

年末年始の贈答品シーズンに一度驛の小荷物係所をのぞいてごらんなさい。平常の十倍も二十倍もの夥しい小荷物の山、小荷物の洪水で係りの者達は修羅場のやうなさわぎを演じて居ります。この大混雑を一層面くらはせるのが不注意の荷物こしらへです。

包裝紙が破れて中から品物の飛び出したもの、結へ紐がゆるんで荷物の崩れたもの、中から汁がしみ出るもの。箱や籠の底のぬけたもの、品物が腐敗變質して臭氣のしみ出て來たもの、宛名札の取れてないもの、更に荷こしらへはちやんとしてゐても荷受人の轉居して見あたらぬもの、町目番地の記入してないもの、同じ場所に同名同姓の人のある場合等々は係員泣かせ、配達夫泣かせで、手數をかけた揚句が、せつかくの心こめた贈物が破損したり、むなしく行きなやみの狀態となつたり、又は遲延して着くやうになつたりします

小包みの中をぬかれ、品物を破損された等とよく驛の荷物係に怒鳴り込んで來る人もありますが、どうして暮やお正月の忙しい時にそんなわるさをする暇があると思ふ方が大間違ひで、たいてい荷出人の不注意による荷作りの不完全が原因をなしてゐるといつて差し支へありません

何裝は遠方なればなるほど安全堅固な油紙又は布をもつてし、箱ならば厚板のもの、據等は麻紐を入念にかけるやうにします

荷札は鐵道便では二枚といふことにきめてありますが郵便の方でもこれは實行した方が安全で出來るなら成るべく現品書面も包裝紙に直接に書くとも必要です

宛名をあまり略し過ぎると迷つたり遲れたりします、ことに同姓人の多い所へ等は番地の詳しい間違ひがありません

同居人であり乍ら何々方といふ肩書をぬく位始末の惡い事はないさうです、それから番町名や番地等を書かれるのも困るさうです最近のハッキリした住所をよく調べた上で送る事にしませう

内容物は破

損しやすいもの、變質するもの、および液體は特別の荷作りでもしない限りは見合せのこと、郵便小包みでは長、幅、厚が各々七十糎(約二尺四寸)又は長さ九十糎(約三尺)幅厚十五糎(四寸)より大きいものは取り扱はないといふ事も知つて置きませう。手紙をその中へ入れるのは勿論、包裝紙に賑やかな通信文字を書き入れる事も罰金ものです

珍らしや女社長

天香園の金玉嬌女史が 新國際ホテルを經營

朝鮮の婦人と言へば夫唱婦隨の一語に閉ぢこもり夫の友人とすら言葉を交さぬ有様であつたが、時代は過ぎて家庭から街頭に半島女性は溌剌をかなぐりすてて進出せんとしてゐる

×――かうして今度半島に最初の女社長が生れた

朝鮮情緒をタップリ盛つた朝鮮式國際ホテル天香閣が資本金六十萬圓で近い中に出現するが去る廿日天香園で株主創立總會を開いて重役を選任した結果目下仁寺町で朝鮮料理屋天香園を經營してゐる金玉嬌女史が社長に選任されたのである

×――金女史は可弱い女の手一本で天香園を經營しはじめて以來男に優る鮮やかな經營振りで、其若腕振られて天晴れ女社長に納まつたのである(寫眞は新社長金女史)

流行の新春訪問着

おめでたい柄行をお選び下さい

(正)(月)の訪問着の柄模様はどうしても梅とか松とか竹とか、春らしい模様が好まれます。

新年に菊とかあやめとか季節はづれの柄はやはり避けたはうがいいと思ひます。それでお正月ばかりでなく、いつでも季節にこだはらずお召しになららとお思ひの場合はあまり季節をはつきりさせぬ柄をお選びになつたはらが御便利です。花模様でも、四季の花をとり合せてあるものなど結構でせう

(寫)(眞)の着物は、紋綸子の小紋振袖、クリーム地に優雅な古典趣味の地紋を出したもの、紋綸子は艶があり、華やかなので、お正月用に殊にふさはしいものでせう。四十八圓

帶は紋綸子地に金糸の御所車を織出し、花の丸の刺繍を施した上品な丸帶です。四十五圓(東京上野松坂屋調べ)

紙上病院

乳だけ女

【問】十六の少年ですが、十六歳より女子の様に乳部が隆起し始め今では丁度十八、九の少女が持つ位の大きさになつてゐます、一寸つゝいても痛く外見も男として醜く困り抜いてゐますが醫術によりこの隆起を無くする事は出來ませんか

【答】瀬戸病院長 恐らく脂肪過多の人でせう、脂肪を少くするがよい、若い人では中々やせる方法は六ヶ敷から、よく噛んで物を食べて御覧なさい、外見男子で實は女子の内分泌を有する體質を有して居るため、外見男子であり乍ら女子の體形を取る事あり、之は一種の畸形なのです

いぼ痔

【問】二十四歳の男、四ヶ月前よりイボ痔にて便通の際小豆大に肛門外に現れ、便通後又もとの通り内に引込み居りたるも一週間前より出たまゝ痛みを覺え引込みません現在揷入、塗布の藥を使用し肛門部を便帽にて暖めて居りますが、注射、手術に依らず何か良い療法は御座いませんか、又揷入、塗布藥はどんなものが著しい効果が有りますか

【答】瀬戸病院長 痔核でせう之は非常に多い病氣であります局所療法としては暖い濕布其上便帽で暖めるのもよろしい、痔核は内方から出たものなるべくもとの内部の方へ返し置かなければ入れる、種々の油をつけて入れても入らなければ入浴して入れゝば容易には入、挿入藥は肛門座藥と稱するが之は腸内の溫度にては固形體であるが身體内の溫度にてはドロく に解ける油を使ひ其内に種々の腫れをひかせる藥や脈みを止める藥血の出なくなる藥等を入れて指頭大の藥として使用するか其藥は痔とするも宜しい

黒にきび

【問】私は二十五歳獨身男子です、數年前より『ニキビ』が出來始めましたが初め周圍が赤くなり押し出した跡が黒く變じ、中日以上も消えず痛の様になつてよくなりますが、其の後が穴となり職務上困つてゐます、便通が悪いのも原因と思ひますが普通の傷でも黒くなりなかなかなほりません、療法御教示下さいませ

【答】瀬戸病院長 痛や前の不治した後黒色の皮膚の色素沈着を殘す事あり多くは久しく經て自然になくなる御心配なし、體質と稱してるのは無意味な事で皆病氣が解らない時に種々の病氣の總稱として分らないものは體質と云ふたものです

遞信聯將棋戰

第八局

平手 先番

△紅軍 初段 組田吉夫 1 / 初段 安達逸 3 / 二段 今井鍬次郎 5

▲白軍 初段 津田常男 2 / 初段 渡邊肆郎 4 / 初段 淺原貞記 6

圖は――▲八四飛迄の局面

△五四歩1 ▲四二銀2 △六四歩3 ▲九五歩4 △全歩成5 ▲同銀6 △七三馬1 ▲五四飛2 △同飛3 ▲同銀4 △三飛打5 ▲三銀引6 △二飛成1 ▲五歩打2 △四香打3 ▲四銀引4 △同香成5 ▲四二玉4 △三二龍5 ▲同金6 △三桂打1 ▲五三玉6 △五九歩3 ▲九飛打2 △六四銀1迄にて紅軍勝

持時間各五時間 消費時間 △紅 二時間二十六分 ▲白 二時間八分

終局の圖

總說 恨みは深し五二打歩

五段 盛岡市朗記

戰の結果は讀者が御覧になつた如く、隣に見る波瀾を以て終始が綴られた興味深い會戰であつた、戰跡に就いては隨所に現はれた作戰とか變化は評説に依て盡して置いたと思ふが紙面に限りがある爲め或は盡し切れなかつたかも知れない、それで茲に更め本局の大要を述べて置く

本局序盤の陣立としては双方共に相懸り形を選んだのであつたが白軍が後手番でありながら習定跡で併も先手番の用ゆる五一金型を採つたのは根本的に作戰を誤つてゐた爲るに紅軍がこれに對する作戰が當を得なかつた爲め敵の陣を突き得す互格の形勢を以て中盤に入つたのである

中盤戰に於いては紅軍好機を得ながらも屢々對策を誤り白軍に乘ぜらるの形となり當然苦戰に陥るべき最も大切なる秋、白軍が五二歩打の大惡手を演じた爲めに形勢忽ち一變白軍として挽回の餘地なき程度の悲境に陷つた加るに紅軍は益々自軍巧みに敵の陣を突いた爲め遂に白軍再起する能はずその儘押し切られて慘敗に終つたのであるが折角の好局を得ながら五二歩打が敗因となつて敗れたことは白軍に採り實に惜むべき將棋であつた

引續いて最終盤戰だが紅軍(黒田)から五四歩打と賑迫され、白軍(津田)の四二銀は餘儀なく、續いて六四歩(安達)と攻められる形となつては大勢は茲に白軍の敗北と決してゐる、だが最後の一手迄諦められないのは人間生身である以上生への執着を斷ち切れないと同じことだ。白軍(渡邊)の九五歩以下の指手は只これ迄に於ける努力への執着に引きづられたのと今一ッ天佑をまつといつた淡い望みからであつたに外ならないが紅軍の寄せに大した退遜がなかつた爲波瀾を極めた本局も遂に白軍の敗北となり終つたのである

港都の歳末景氣は　やゝ期待はづれ

重なる天災で農民の購買力が減退し　精米業不振も影響

【仁川】殖産工事、新事業の勃興で仁川の歳末景氣は相當活況を呈するものと多大な期待が寄せられてゐたが、仁川景氣を構成する精米工業は米價安と原料不足に禍ひされかつ、郡部農村は未曾有の旱水病虫害の影響を受け農民の購買力があまりにあがらずやゝ期待はづれの觀がある、十二月一日以降十五日までの歳末市況を各方面に求むれば、米安、米價の金組、文化金融組合貸出額は前年に比し十四萬六千五百九十九圓の増でこれは現價の低騰によるものとみられ回收も案外よい、仁和（妓生）仁川券番の水揚げ高は前年に比し約一千圓の増で約三千五百圓、遊廓は内鮮人合して一萬一千餘圓で前年よりこれも一千圓の増、カフェーは六千六十九圓の賣上げで昨年の四千六百十三圓に比すれば一千四百餘圓の増、松尾、吉田、田中、中村の主な商店の賣上は二萬圓を越えこれもやゝ昨年よりはよく、宮町組合ではこの賣出し中に二萬四千餘圓、鮮人組合は二萬七千餘圓の賣上げをなすべく意氣込み、以上の如く十五日までの狀況では大した期待をもてないが昨年よりやゝ景氣はよい模様である

にゐたところ、何い一命を鳥頭に……はその後ふとしたことから罪を犯し今では囹圄につながれる身となつたが、朔風吹き荒ぶ滿洲の曠野のことを想ひ出すと、暗い心

赤誠こめて　御安泰祈願

佳日をことほぐ　仁川の奉祝行事

【仁川】廿三日は畏くも日の皇子の御降誕遊ばされた佳辰、府では慶祝を寿ぐため午前十時から仁川神社で御安泰祈願祭を執行した、詰められた神域に官公署代表、銀行會社團體その他有志等が参列し赤誠を捧げてこの日を祝し日の皇子の御安泰を祈願した、なほ各學校では校長から訓話をなし公立記念幼稚園でも祭祝式をあげた

京東株のもつれ

荒木專務の誠意を買つて　明春圓滿に手打ち

【仁川】京東鐵道會社新株の第二回拂込みを繞る仁川株主側と會社側の紛糾は遂に波瀾に波瀾を重ねてゐたが廿二日午後七時から商工會議所に株主總會を開き今後の處置について種々懇談し結局、荒木京東專務も自分がとつた態度に遺憾な點があることを認め再び謝罪のため來仁したい意向を抱いてゐる模様で、第二回拂込みはたとへあつても第一回拂込みの如く抜打ち的にやらぬことを堅く約してその上荒木專務が心から謝罪するならばといふところまではゞ株主側の感情がとけ吉田商議會頭に一切を任せ午後九時過ぎ散會した、年内に解決する筈であつたが年末多忙の際株主會を開くことは一考を要するので明春早々圓滿解決の途を講ずることになつた、なほ京東鐵道は本社を仁川に移してもよいとの意向を抱いてゐたといはれ仁川でも移轉運動を起す意氣があつたがこの紛糾のため一時中止されたが、併し京東鐵道として仁川本社の件は未解決に殘された形であつたが、本社の仁川移轉を希望しなければならぬであらう

卸に市場を開設することに決定、道知事宛認可申請中のところ當局から市場施設費補助金の提示方要求があつたので二十二日午後一時から更に臨時總會を開催し先づ委員會を經て同案を練つた結果仁川としての具體的設案を經て同四時臨時總會を開き……一同は承認……

少年刑囚の國防献金

【仁川】廿三日府仁川少年刑務所から一圓の國防献金を送つて來た、刑務所では直面的に發表するのを遠慮してゐるが、送つた受刑者は目下刑務所で服役中の一少年刑囚某良根である、かつて滿洲

城大の藥草園

速水總長が開城で懇談

【開城】東洋に誇る京城帝大藥草研究所では今回同所内に藥草園を設立することになり二十一日速水城大總長ならびに杉原博士が來開し午後一時から郡守に官民有志を招待懇談するところがあつた、同園は九萬圓の豫算で建坪百八十坪の家屋を新築し愈々明年度から研究に着手するが、人蔘の都開城に開設されることは今後人蔘の科學的研究にも益するところ大なるものありと期待されてゐる、右について杉原博士は語る

現在は開城に道立の研究所があるだけでそれとて微々たるものであるが今回初めて官立のものが實現し、日本全國は勿論東洋に誇るものである、府民各位の御援助を御願ひする次第です

勞働の實態調査

勞力の公平分配による更生を期し　來年度慶北で實施

【大邱】慶北道では明年を期し道内一齊に勞働調査を開始する筈であるがこの調査により慶北の現有勞力勞働の實態を知り各種事業勃興による勞力需給に應ずるわけであり、今回の調査は單なる勞働力の調査だけでなく細民及窮民の調査を行ひ之等の過剰勞力を調査し勞力の公平分配を行つて自力更生を企て、殊に細民に對してはやゝもすれば一介の要救勞働者に化し自由勞働者に轉落する者があるのでこれが防止を行ひ躍進させながら過剰勞力の合理的運營をはかるものである、なほ右の準備調査として廿二日附で各府郡邑里、細民及窮民の過剰勞力調査を命じ十二月一杯で取纏める筈になつてゐる

南鮮商事會社

閔氏一族が經營引受け

【清州】營業不振が祟つて解散か存續かの岐路に立ちその歸趨を注目されてゐた清州驛前、南鮮商事株式會社は去る十五日の重役會議の結果、社長金元根氏の持株、一千六百五十株を清州の財閥閔氏一族が引受け社長に閔庭植氏が、それぞれ就任、經營を續け、今後、南鮮事業界に雄飛することゝなつた

清州の市場擴張

臨時邑會で具體案決定

【清州】懸案、米市場移轉問題を繞り現米市場住民の移轉反對派と石橋町住民の移轉派とが久しきに亘り抗爭を續け邑當局上の惱ときれてゐたが過般の臨時邑會で愈よ石橋町内無心川埋立地一千六百餘

歳晩氣象

三寒四溫の軌道に乘る

【大邱】一年中一番日の短い冬至の廿二日は久し振りの快晴で、朝は相當底冷へがしたが日中は暖かで風も大してない小春日和、二、三日前の氣味惡いほどの暖かさも解消し靜かな冬の歩みに戻つたが、右につき大邱測候所では次の如く語つた

數日來の暖かさは一時的のものでこれから三寒四溫の軌道に乘つて來るであらう、廿二日例年より最低氣溫は一、二度低く大地と云ふ大地に凡て凍てつき、道行く人の下駄音にも師走の訪れを知らせるものがあり初めて暮の街らしい風景を展開してゐたが、附近に低氣壓もなく高氣壓も見當らないのでこゝ二、三日は快晴の日が續くであらう

ご存じですか！冬至の傳說

面白い冬至の風習　二十二日

は冬至だ、早や今年の冬も半過ぎて、日中は今日から一分二分と長くなつて行く、この日を朝鮮では一つの名節として昔から神秘な日とされてゐる、即ち小豆のお粥をつくつて三度し、邪神を退治するといふ意味でそれを家中へふり撒くのである、これは支那の傳說に昔共工氏といふ惡い子供の父が冬至の日に死亡したが、死後天然痘神に化けて各家庭の子兒を脅かすと云ふもので、坊ちやん、孃ちやんの幸福を祈る日とされ朝鮮風俗の一場面として傳へられてゐる

歳末同情週間

永登浦

永登浦署では十日から歳末同情義捐金品の受付を開始したが京城紡織工場から白米一叺、大塚鑑三郎氏から金十圓寄附を初めどしどし同情金品が集まる

就中道路改修工事の軍部から表彰された徳徳夫サさんは餘り豐かでもない家計から金三圓を、また夫君の樋渡千助氏も金五圓の寄附を申出で、また永登浦署一同も同情金を醵出した

にもその當時の皇軍の悲壯なる勇姿がかげんで貯蓄した金の一部をさいて國防献金したものである、李は近く刑を終へて出所する筈で、刑務所ではこの愛國少年囚の身分その他を語るのを差控へてゐる

【開城】府の歳末同情週間は府と方面委員の主催、警察署、愛婦支部、各町總代、朝鮮社會事業協會、府内各新聞支局の後援で二十一日から二十七日まで實施中で義捐金品は現金または白米とし受付場所は左の通り

府社會事業係、東部方面事務所（東本町四五一金正浩氏方）南部方面事務所（南本町三四三金基永氏方）北部方面事務所（北本町四三六朴鳳鎮氏方）

忠北警察界　異動寸評

適材適所の明朗さ

安田さんが着任最初の腕試し人事成功

【清州】久しく噂の的となつてゐた警察部高等課の人事異動が斷行されたが安田部長人事異動の試金石として正に刮目に價するといへよう

×　×

警察部署長級の異動は全鮮を通じて警察部で今回の昇進はむしろ遲れた感がなきにしもあらずだ多年忠北各地の署長として又高等課長として警察行政に盡瘁した功績は甚大で殊に最近、幼年敎化事業に着手して日短きに拘らず顯著な實績を擧げつゝあることは土屋土產となるう、同氏は至て明朗快活で多趣多趣味、警察行政においては定評の敏腕家だから働き盛りの同氏として江界署長に轉出することは蓋し本望であらう

×　×

警察部は暫時、閑職に廻はされた形、石破清州署長の高等課長就任は定評といふべく勿論適任、宇田道立醫院書記は健康勝れず保安課長の激務から一時休養の意味で暫く閑職にあつたが、今回、返り咲きといふところ、閔氏の同氏は清州署長として忠北の首都を中心とする治安維持に鮮かな指揮力を揮ふものと期待されてゐる

明春に備へて早くも支度

平壤の觀光協會　旅客誘致の新計畫

【平壤】觀光協會では明春の觀光シーズンに備へるため十九日午後四時から府内金町金千代會館で各方面の關係者を招いて來年度事業に關する打合せ會を開き協議した結果大の如き目新しい計畫を樹立して早くも觀光季節を待機することになつた

▲綺麗な又は封緘葉書の作成
▲觀光シーズン中牡丹台公園内に無料休憩所を設け茶の接待をなす
▲各自動車運轉手、旅館の女中に平壤紹介の敎育をなす
▲安東、沙里院間に花見列車を運轉する
▲大同江上の物賣舟を取締る
▲妓生の舞踊演習會を陽春開催

開城局の電報

【開城】開城郵便局の十二月一日から二十一日までの電報送着數は

發信一、三六九、着信二、七一二、中繼信一、八六六、計五、九六〇

前年同期の合計四、八〇八通に比べ二割四分の增加を示してゐる、又十二月一日から新らしく出來た慶弔電報の取扱ひ數は

發信　祝電二〇、弔電一九、計四九▲着信　祝電七六、弔電八三、年賀電報發信四、合計二一二

朝鮮陶器會社

資本金五十萬圓で　驪州に產聲をあぐ

【驪州】陶器組合では今回業務擴張のため金郡守の斡旋で資本金五十萬圓の朝鮮陶器株式會社を組織することになり、去る十九日郡廳會議室で創立總會を開き、左の通り重役を決定したが同社は年產約百萬個を目標に郡内は勿論、外國輸出も計畫してゐる、なほ同社では有志を招待披露宴を張つた

社長崔基永▲專務長高明白▲常務李觀九▲取締役權舜祚、姜大元、尹平假、明泳碩▲監査役劉永澤、黃顯九

亡き父をしたふ　白百合の哀しみ

病床に臥す姉をおもひ　佳人にわびし師走の夜

師走のある夜
雪暗を掩ひ、雪輝をつゝむ
ストーブのみが眞紅に燃えて
雪降りてあらむ
父の墓に
雪しづかにかなしみを埋む
雪いまだやます
机の上の溫室咲きの椿
わびしからずや
父既になし
母のみが寂き家にゐて
そつと愛の手に慰む
一つの影の思ひ出
師走の或る夜
雪かすかに魂はすすり泣く
ただ一人なる姉を思へば
わびし
姉一人
靜かなる部屋にゐて
雪を聽きてあらむ

◇

住吉御山手町の一角に瀟洒な一つの邸宅——古い庭には珍重な草木もありて手入れゆきとゞきその家に住む人々の如何に豐かなるかを思はしむ、櫻の梢には冬枯れのわびしさが揺れてゐる、一陣の冬風が白い洋壁にぶつけては去るが微動だもせぬ、寂々としたこの家は夫を、父を亡ひし淋しさに沈んでゐるが、また明日への希望に燃えてゐることもいなめない、醫學博士、國經無日駐長として斯界の人々に懷かしまれた後藤進平氏がなき後を守る未亡人の健氣さのうちにも敏子さん（二七）美代子さん（二十）の二人はやはり青春に生きゆく乙女である

敏子さんは目白の日本女子大學校國文科の出身、妹さんの美代子さんを女大に入學させるため東京で一軒家を借りフランス語やドイツ語の研究に沒頭たまたま父の死に遭遇し傷つき易い乙女の心はちゞに亂れて折柄健康を害してゐた敏子さんは病ひの床に倒れてしまつた、父が世を去つて、冬と春と夏と秋、そしてまた冬を迎へたが、敏子さんには明るい青春はまだ甦つて來ない、併し近頃では靜かな療生を活に入つた敏子さん——白百合にたとへんか、にほやかに咲き出でし乙女の心に重なる悲しみは、たゞ母の溫愛の手に慰められつゝも強く起ちあがらうとする美代子さんである

『私の育て方が惡かつたのでせうか、姉妹二人とも人とお會ひすることをとても嫌ひまして……こんなに永く仁川に住んでゐましても女學校と自分の家の道より知らない位でして』

母は娘をかばひながら、それでも日増しに美しくなりゆく美代子さんに、母の喜びは夫なき悲しみを忘れさせる位だ、父を亡ひし乙女はわびし、父なき正月を迎へることふたゝび、酒を好まざりし父もお正月だけは機嫌よく〳〵と傾けた酒にほてつて何時になく朗らかに家族の者達を笑ひ轉ばせたことも遠くの夢と消えて、來る年の春の想ひ出はあまりにも悲しい……美代子さんには青春の華麗さよりむしろ清楚な、またゲニールの深さを深く抱くことが出來る、おかし難い氣品、水のやうに澄める美代子さん、だがその瞳はあまりにもうれひにみちてゐる

◇

聽いてごらん、窓を高鳴りする風の聲が聞える
妹よ、あなたの眼の美しさ、あなたの頬の白さ
妹よ、私たち二人のために世界は今生きつゝある
私たち二人のために大地は振拵ちつゝある（寫眞は美代子さん）

槐山酒造會社開業

【永同】今回創設した槐山酒造株式會社で一月一日から開業

シネマと演劇

瓢館【仁川】二十三、四兩日（每日畫夜二回）▲松竹キネマ超特作トーキー「東洋の母」田中絹代、川崎弘子、飯塚敏子、飯田蝶子、阪本武、岡讓二その他總動員▲マキノトーキー超特作藤原鎌足作「修羅八荒」友右衛門、監督久保田、原駒子、松浦築枝、光岡龍三郎、葉山純之助、特別出演澤村國太郎（階下二十錢、小人十錢）

愛館【仁川】廿三日から劇團「文芸星」公演▲時代劇、林仙生作「端午夢」全二幕▲京劇「孝心」全一幕▲出演者（男子部）林生員、沈勝波、鄭洪爾、朴英、鄭海蘭、金基成、林生出、平山人、明月星、崔永植、劉東顯、李哲、鄭東洙朴操山、閔明國（女子部）申一仙、李福玉、金蓮玉、康福淑、金玉女、丁順、金美順、金時玉、金俊玉、金光淑

皇太后陛下
畏し、燈台守に御仁慈
御内帑金を御下賜遊ばさる

【東京電話】皇太后陛下には嚢て入里離れた絶海の孤島に燈台を守り、遠く船舶の航行の安全を保障しつゝ唯々として其の天職を果しつゝある全國燈台職員に深き御思召を垂れさせられ廿三日これ等燈台職員御慰問の御仁慈として御思召から金一封を財團法人燈光會に又朝鮮、台湾在任の燈台職員に對して拓務大臣を經て金一封御下賜の御沙汰があつた、拓務大臣代理入江次官、燈光會代表逓信省燈台局長は二十三日午後一時打揃つて大宮御所に伺候、各御下賜金を拝受、感激して退出した

永田拓相謹話

永田拓相は廿三日午後三時皇太后陛下の御下賜金を山田朝鮮總督府逓信局事務官および須田臺灣總督府財務局長に傳達した後左の如く謹話した

皇太后陛下におかせられましては常に民草の上に御慈悲を垂れさせられ給ふことは國民の等しく感激に堪へざる處でありますが本日皇太后陛下には内地初め朝鮮、台湾南外地の燈台職員に對して特別の御思召を以て御内帑の資を下し賜はつたのであります、畏くも陛下には去る大正十二年五月觀音崎燈台に行啓遊ばされ親しく燈台事業およびその勤務状況を御視察あらせられいたく御同情遊ばされ御内帑の資を下し賜はつたのでありますが今回また御下賜金の御沙汰を拝しましたことは誠に感激に堪へません

五年後の半島鐵道網
十大循環線の出現
第一期既定計畫完成後の變革に備へて
經濟陣營早くも秘策を練る

第一期既定計畫完成後の朝鮮鐵道網略圖

鐵道局の半島を縦横に繋ぐ鐵道網に依る昭和十六年度で既定計畫を完了し現在の三千二百八十三粁から一躍總延長は五千二百粁となり半島の産業開發に一大威力を増すことになつたが、同時に出現する循環線は京城を中心として新義州——水川間の中央線、釜山——安邊間の東海線および奉天——晋州間の慶全南部線の全通によつて

A　京城を起點に京釜線の大部より中央線を循環する新路線

B　同じく京城を起點に京釜線と東海南部、中央線を經由する新線

C　京城起點京釜線、東海線及び京元線を一巡するもの

D　京城から中央線、東海南部線東海線及び京元線を一巡するもの

E　京城起點に大田から湖南全羅慶全線を經て三浪津から京釜線を循環するもの

F　同じく三浪津から釜山を經て東海線、京元線を經て内南朝鮮を一巡する大循環路

のほかに高原、陽德間の平元線、白岩、茂山間の白茂線の全通で

G　京城起點に京元線の高原より平元線を經て平壌から京義線を經由一巡するもの

H　咸北吉州から惠山線白岩から白茂線、茂山線を經由して吉州に歸るもの

さらに京城から京釜線、東海線、平元線を經て平壌から京城に歸るものと、京城から京釜線大田から湖南線、慶全線、東海線をぐるつと廻つて平壌から京城に歸着する二大循環路線等總計十大循環線が出現することになるので從來の經濟交通は根本的に大變革が加へられ、これまで夢想だにされなかつた地方經濟ブロックが出現する樣で早くも關係方面は經濟取引に新生面を開くべく準備と研究を進めてゐる、さらに私鐵も約一千三百粁から二千粁に延長するのでこれ亦地方的に重大な役割を演ずることにならう

宇垣・今井田兩家の愛婦本部寄附金
奬學資金に充當

愛國婦人會朝鮮本部、京城府分會、赤十字社篤志看護婦人會朝鮮本部では愛婦前總裁宇垣前總督夫人、愛婦および赤十字社篤志看護婦會前朝鮮本部長今井田前總監夫人の多年の功勞に酬いるため記念品を贈呈したがこれに對して愛婦本部に宇垣家から四百圓、今井田夫人から五百圓寄附して來たので同本部では兩夫人の厚意を[illegible]

二度目の犯行
第一回は柱を焼いただけ
放火魔金の自白

既報、去る十三日營業不振から保險金ほしさに放火した京城竹添町一丁目眼鏡商金俊宗（二七）の取調べを進めてゐる西大門署司法係では愈よ廿六日には身柄を檢事局に送るまでに調書を整へてゐるが廿三日遂に犯人金の自白により今回の放火より一ヶ月前の十一月初旬に放火を企て近所の板を燒いただけで目的を達せず直ちに大工を呼んで修理を終り次の機會を待つて決行したことが判り問題の修繕箇所の板を廿三日朝放火未遂事件の證據品として押収した

砂防講習會
本府農林局

では一月十八日から二月一日まで京城府民館で第九回砂防講習會を開催することゝなつた

内鮮兩大學の快擧
冬の冠帽山爭覇戰
車中で先發隊が偶然鉢合せ

氷河の痕跡遺跡から有名になつた咸北の冠帽峰——海拔二千五百四十一米——を繞つて城大と早大の兩山岳部が今冬を期して壮烈なる制覇戰が展開されることになつた、城大山岳部の先發隊二名は廿二日出發、廿三日午後三時五十分總泉部隊ら四名が登山服に身を固めスキーその他の登山用具や食糧品を携行朱乙に向つたが竹内城大豫科教授はつゞいて廿四日同列車で出發の豫定で一行八名勢揃ひの上で早大山岳部より一足先にスタートを切る譯である、泉部隊一行の列車は奇しくも競爭相手の早大山岳部の先發隊鍋島、太田兩君が同乘し華やかな制覇の策戰を胸に秘めながら北鮮の冬山登攀の壯擧などを仲よく語り合つてゐた

早大山岳部員八名は廿六日午前八時入城直ちに北鮮に向ひ先發隊と合して茲に内鮮の二つの大學が鎬を削る壯快極まりない冠帽峰制覇戰を開始するわけであるが、城大側は朱乙から團結した民業合の先人未踏の地を征服して四ヶ所のキヤムプを張つて猫岳排除の山頂を極め明春七日歸城の豫定であり、一方早大では朱乙から先づ小手調べに海拔二、二七七米の孔山峰を征服し態勢をかつて冠帽峰制覇の凱歌をある計畫で兩部共に決死的の壯擧を決行するもので城大、早大いづれが先に冠帽峰の頂上に輝く校旗を押し立てるか、どんな貴重な教訓が齎されるか、何しろ半島の冬山制覇のビッグゲームの展開と先陣爭ひに殿然内地と半島に血湧き肉躍る興味と異常の話題を投げかけた

罪の伯爵二男坊と
妻が涙の對面
子を持つ親達を考へさせる
本町署司法室哀話

半島名門の血を享け某伯爵の次男坊として生れた彼が父の名譽と地位をよそに前科數犯を重ねた揚句、街は師走だ、お正月だと賑かに騒ぎ立ててゐる時又も詐欺といふ汚名のもとに本町署の冷たい鐵窓に繋がれた……彼朱在龍（三〇）が本町署に檢擧された事實は去る十八日既報の通りであるが、話の主人公彼をめぐつて廿三日朝本町署に展開した涙の場面、廿三日午後一時一人の貴婦人風の淑女が本町署を訪れた、それは彼の妻であつた間もなく取調べ官の前に引出された朱は妻の顔を一目見るや冷やかな態度で「お前は何しに来た俺がやつた彼[illegible]金でも工面してくれるのか」といへば妻は「貴方はどうか今少し眞面目な人になつて下さい」と涙の哀願である朱はこれを見てくれと着てゐる薄いコールテンズボンをまくりあげながら「もう十二月も末といふのに冷い留置場、これ一枚を着てふるへてゐても誰も着物一枚差し入れてくれる者はない、これで家庭を忍まずにゐられるか、僕は家庭をうらみこそすれ、眞面目な男にならうとは思はない、刑務所でも一日三食は喰はせてくれる」と語り妻は腹の子故に名門の子とは[illegible]いへ母の愛なき冷い家庭に寂心を蝕まれいおけた彼がモヒに憂さをはらしてゐた果は堕落への一途に轉落するに至つた經過を語り終るやワッと男泣きに泣いてゐる有樣は子弟を持つ世の親達に生きた教訓を與へるものがあつた

高等小學校で
教練閲兵式
神宮へ参拝

京城公立男子高等小學校では千二百名の全校生徒がけふの佳き日、廿三日午前十時半から訓練町の同校々庭で甘蔗京城府尹が閲兵官となり元氣よく教練閲兵式を行つた同校では昨年暑中休暇から小學校で初めての試み教練を行ひ好成績を擧げてゐる、式後は揃つて朝鮮神宮へ参拝した

京城驛で
就職詐欺
犯人は少年

大膽！白晝大京城の表玄關、京城驛の構内列車區を舞臺に冠の入つた就職詐欺を働いた少年がある、京畿道高陽郡尹大容君（二二）が就職のためあせつてゐると適當に當る改札（一九）が一自分の實兄が京城驛列車區に勤めてゐるから世話してやらうそれには保證金百圓が必要だ」といふので尹君は金融組合から六十圓を借用、廿三日朝尹少年に同行されて入城、尹少年が京城驛地下道列車區入口に大容君を待たせ實兄に話して來るからと五十五圓を受取り入つたまゝ出て來ない數時間待たされた大容君は不安になり列車區の人に聞合せた結果一ぱい食はされた事が判り青くなつて本町署へ屆出た、目下該少年を捜査中

バスが追突
自轉車人重傷

廿三日午後四時半ごろ京城鍾路町一二五先で乘九用石の運轉する京電バスが永登浦路政敬君（三八）の自轉車に追突し雜君の兩手に重傷を負はせ自轉車をめちやくにした

此の一妓 二萬二千圓 手活けの花 足を洗つて

一九三六年の半島好景氣話題のトピックに〝一萬二千圓藝妓〟が飛出して花街雀をアッといはせてゐる、幸運ツ妓は本券番所屬で有名な兒太郎こと平間景子（二三）さん、この年の瀬に一萬二千圓の大金をポンと投げ出してひかせた相手は某精貝師だといふ流石半島景氣のよさを示してゐる、兒太郎は東京の芝で生れて向島で藝を勵き三年前から京城に來た妓で彼女の歌には「ひと戀し仰げる空の一つ星われに戀しきものがたりする」などあり紅燈歌日記などを作つてゐる（寫眞は兒太郎）

京城人は薄情か
同情金は〝不景氣〟
金品募集あと二日
早く「温い手」を伸ばせ

同情週間の金品受付期間もあと二日に迫つた、大京城の繁華街として大小商店街に高層建築が立籠ひその繁榮を誇る本町署管内には此の人々の温い同情によらねば正月を迎へられぬ可哀さうな人達が一體どれほどゐるのか、本町署の調べによると、内地人十三戸廿八名、朝鮮人二百六十九戸一千百六十三名、計二百八十二戸一千百六十三名である、だが同署に集まる此の同情は本町筋の物凄い景氣に比し殺比例を示してゐるので、同署ではこの氣の毒な人々の爲にあと二日間に多くの同情を寄せて欲しいといつてゐる

千圓持逃げ

廿三日午後一時ごろ京城竹添町五〇一金築（二〇）は同南山町三〇二料理屋季貞姫さんの抱藝妓呂福珠の前借金一千圓を持つて姿を消したので府内各署へ手配して來た

老いた女の國
養老院に樂しむ餘生
萎んだ戀の夢を追ふ日もある

（三）

七年前に辿りついたのがこゝでした暖かい善意の手に救はれて何一つ不自由はありませんが世間で貧乏の揚句寝見を道伴れに一家心中を企てる者があるさうだが、何んで子供を殺すのか勿體ないと思ひますヨ、せめて死水は我が兒になア……〟

二十四人のお婆さんが慌しい師走の街の雑音とは全く隔離された唯何んとなく安庸に生きのびてゐる年頭の李沙離さんの説く〝貧乏しても子供は育てるもの〟の平凡な説理の中には樣々な人生の妙味が含まれてゐるが、一度養老院へ送られて來ると世間と交渉を斷つてしまひ、食べる心配はなくなり完全に無邪氣な子供に歸つてゐる、だから二十四人の婆さんの身の廻り一切の世話をする役、食事の器も分らないでも無理はない

小林さん（五七）はまるで世話役だ、三度の食事は粗末でも時に軟かな豚肉や、魚のお菜がつく、彼女たちは食べることだけに欲望を繋いでゐる、こゝへ收容される資格は全然身寄りがなく資産のない六十歳以上の者となつてゐるが、こゝで一番若いのが七十二歳の李召史さんだから資格に申分はない、こゝでは一樣に耶蘇教徒になるやうにしひられてゐるので教會に[illegible]

お祈りがある

◇

彼女たちは僅か四間四間の温突に集まつて世間話も少くモクモクと僅かばかりの針仕事をするが、この世間話こそは若かりし頃の甘い戀に醉ふ夢である、この〝戀の甘汁〟の夢幻を追ふことが、せめてもの彼女いやお婆さん等の此の世にかける唯一の慰めであり、日課なのだ、そして墓地への掲歌かも知れぬ、彼の婆さん連にとつてはお正月が來るとまた一つ年を取る、これが一番嫌だと云ふ、築の外では師走賀出しのジンタが姿で立てゝゐるが内の老婆連は一寸顔をあげただけで針の手を動かし始めた歳末の世間にも希望もないやうに

……（カット寫眞は京城府大和町、〔写真説明 illegible〕）

京城の道路網
やつと決定
建築界の惱み解消

延び延びになつてゐた朝鮮市街地計畫令に伴ふ京城府市街地道路網の決定は二十二日南總督の決裁を仰ぎ即日決定を見たので京城府土木部は順次路線の實測に着手、一方建築許可が道路網未決定のため不便を與へられてゐたが今度はこの不便が一掃されることゝなる、なほ京城府から近く明細な計畫道路網を書入れた地圖を發行する筈である

強盜女主人を斬る
公州署で目下嚴探中

【大田電話】廿二日午前二時半ごろ忠南公州邑錦町米穀商中村ミツさん（三〇）方に刺身庖丁を所持した强盜が押し入り、ミツさんが騷ぎ[illegible]

〔諸君〕

☆……十重二十重の年末警戒陣で泥棒の巣の感がある龍山署管内も最近十日間に夜の窃盗被害は一件もなくなつた

☆……そして却つて晝間の盗難が一日平均三、四件づゝ起つて來た

☆……泥公もイロハがるたの〝盗人の晝寢〟説をひつくり返して晝間の泥公に對してメイ案を目下考案中だ、何んだくと聞いて見ると〝住居者が油斷をしないことがそれを新聞に書いて注意喚起だと……ダア！

☆……【珍名辭典】北海道羽幌町豆野豆太郎豆次あり餘程豆好きと見受けたり

けふの天氣
晴、一時曇り

花に濃淡あり〔64〕

片岡鐵兵作　一木弴畫

あきらめ（三）

「氷嚢をあてなくちや、いけないのぢやないか知ら」

三十八度といへば高熱だ、麗子は驚きをかくして呟くやうに云つた。

「大丈夫よ。三十八度あつたでせう」

と晶枝は心にもとめぬ風であつた。

「油断も隙もない人だ。自分で體温計を見たら駄目ですわ。氷をさた貰ひませうね」

「いゝの、いゝの。氣持ちがすこし落ち着いたら、すぐ下る熱よ」

「ぢや、神經熱？」

「まアそんなものね」

さうかも知れぬと、麗子は思つた。征服の話をしたので出た熱であらうか。それとも、梅本の噂をしたので昂奮したのであらうか。

わたしは梅本さんがそんなに好きでもなくなつた——

さう説明した時の、先きほどの晶枝の、何か激しい苦痛をこらへるやうな表情を、はつきり麗子は思ひ出した。

梅本さんがそんなに好きでもなくなつた。——それを云ふために、どんなに自分の心を痛めた晶枝だつたらう。三十八度に昇した熱は、晶枝の心の苦痛を物語つてゐる。

何故、そんなに自己を苦しめてまで好きな人を好きではないと云はねばならなかつたのであらう。

いや、「好きではなくなつた」と口に出すだけのことが、それほどまで身を痛めつける打擲になつた晶枝の熱情に、麗子は驚と悲嘆せずに居られなかつた。

晶枝よ。

あなたはそれほどまで熱心に、あの人を想つてゐるのか！

それに比べると、自分の想ひなどは何といふ中途半端な、取るにも足らぬ遊びごとだつたらう！

麗子は愧ぢた。梅本といふ男をこのやうにまで、生命を打込むほどに想つてゐる晶枝の情熱の嚴粛さに打たれた。

（あゝ、自分の愛情などが何であらう。わたしは慚れよう。晶枝さんの想ひに比べるなら、わたしの苦しみなど問題でもない。どんなことがあつても、わたしといふ者の仇のために晶枝さんを苦しめるやうなことがあつてはならぬ）

諦めもまた美しい。

昨日既に晶枝を相手に戀愛の競爭などはすまいと心に誓つた麗子だつたが、今日はそれが更に、美しい詩のやうに力強く、彼女の心をゆり動かしたのだ。

「もよつと、もう一度檢温器を挟んでごらんなさいな」

と晶枝が青白い手をさし伸べるので渡してやると、しばらく腋の下に挟んでゐたが、

「ほら、ね。もう七度二分に下つたでせう？」

「下らぬことを考へるから、熱だつて上るのよ。」

とやさしくたしなめながら、體温計を受取つて見ると、成る程、ちやんと七度二分に下つてゐる。

「不思議な身體ねえ。さつきはあたし、びつくりしちやつたわ」

ほつとしたが、自分がどんなにまごゝろからこの人の幸福を祈つても、この人はほんとにはして呉れないだらうと思ふと、麗子はやるせなくて、死んでしまひたいほどじれつたい。

障子をちよつと叩く音がした。

「僕です。あゝ暗いなア。まだ電氣をつけないんですか」

梅本である。晶枝と麗子は互ひにびくつとした眼を見合はせた。

ラヂオ　Xマスの夕

一、吹奏樂　救世軍參謀樂隊

指揮チアールスデヴイツドスン

救世軍參謀樂隊は救世軍日本本營の士官達によつて組織されてゐるブラスバンドで、一體吹奏樂では眞鍮（ブラス）の樂器を澤山使ふのでブラスバンドといふが普通にはこの他いろ〳〵な木管樂器も使用される。しかし救世軍のバンドでは木管樂器を使はず正眞正銘のブラスバンドである。指揮者のデヴイツドスン氏は矢張り救世軍士官でスコツトランド人

（イ）溢るゝ恩寵　マーシャル作曲

これは明るい行進曲でこの曲の作曲者のマーシャルといふ人は元イギリスの炭坑の坑夫であつたが炭坑爆破の際大怪我をして不具者となつてしまつた、しかし信仰に入つてから非常に喜悦に溢るる生活を送る様になつた。その喜びを現した曲である

（ロ）エベネゼル　ウイリアムス作曲

これはイギリスのウエールス地方の民謠として知られてゐる曲で讃美歌の中で神の加護と恩寵を歌ふ歌詞にこの曲をつけてゐる

（ハ）クリスマスカロル　デヴイツドスン編曲

これはクリスマスを祝ふ曲である如何にも樂しさうなそして嬉しさうな曲である

二、讃美歌物語　星とそのお友達

上澤謙二作　基督教童話協會　指揮　上澤謙二

キリスト教童話協會は上澤謙二氏を中心としてキリスト教童話家によつて結成されてゐる團體である上澤謙二氏は婦人の友社に關係してゐる童話作家である

大きな星が大空で歌つてゐます。そこへ他のお友達の星が歌ひながらやつてきます大きな星がベツレヘムといふ村の宿屋の屋根の上で止まりました。宿屋の馬小屋の中ではイエス様がお生れになつたのです羊飼ひ達と東の國からきた三人の學者達とが最初にイエス様を拜みました。この情景を讃美歌で美しく現したのがこの物語りです

浪花節　柳生二蓋笠　東家小樂燕

徳川三代將軍家光公の劍道の御指南番を勤める柳生但馬守の三男又十郎は、如何したことか劍術を嫌ひ、ついに父但馬守の勘當を蒙つた。そこで諸方を放浪してゐたが、その間に心に悟るところあつて日光に赴き、二荒山に籠り明暮する劍術修業を志れ敬へなふたかくて修業の許を受けて七年間といふもの苦心修行を積んだ。そして修業の許を得て江戸表に立歸り大久保彦左衞門老に面會し、父との試合を頼み、彦左衞門の斡旋で愈々親と知つて子と知らず又十郎が但馬守と二蓋の陣笠を持つて立合をなし、父の斷眞がとけて飛彈守に任官するといふ又十郎苦心の一席

けふのプロ

廿四日（木）第一放送

午前七時三〇分（東）朝の修養　聖オーガスティンの宗教生活　瀬川龍之助（終）

同七時五一分（東）ラヂオ體操

同八時一〇分　今日の天氣見込（京城・釜山）

同九時（東）衛生メモ

同九時一〇分　氣象通報（釜山）

同九時一五分　氣象通報（今日の天氣見込・水溫）

同一〇時三〇分（平）家庭講座　猩紅熱の豫防と初期の注意　道立平壤病院小兒科長　濱與兵衞

正午（東）時報・日用品値段・鮮　魚闘値段

午後零時五分（東）浪花節　柳生二蓋笠　東家小樂燕

同零時三〇分（東）國民歌謠　一、願ひ　山澤睦子作詞・大和田愛羅作曲　二、野ゆき山ゆき　九條武子作詞・瀬戸口藤吉作曲　獨唱　大和田愛羅　伴奏　AKトリオ

同零時四〇分　ニュース

同一時一五分　家庭の時間（朝鮮語・釜山）クリスマスプレゼントの話　崔　隣　則

同二時（東）婦人の時間　今年の婦人界を回顧して　山田　わか

同三時四〇分（東）氣象通報

同四時　ニュース（氣象通報・釜山）

同六時（大）連續童話劇　ポンポコ補助（終）サンタクロースの笛　チヤント丘四ペーヂ　BKコドモサークル

同六時二〇分（東）コドモの新聞　關屋五十二

同六時二五分（東）講演　本年の文藝界を回顧して　中村武羅夫

同六時五五分（東）カレンドトピツクス

同七時　ニュース・天氣見込・聯絡事項紹介

クリスマスの夕

同七時三〇分（大）混聲合唱　大阪コーラル・ソチエテイ　オルガン伴奏　池田　浩治　ピアノ伴奏　市野　正義

一、讃美歌（無伴奏）　指揮　長井　巳之吉

（イ）聖しこの夜（ロ）最初のクリスマス　英國古謠

三、麗しき哉乙女マリア（無伴奏）

三、曉の明星（コラール）（無伴奏）

四、われ主を待ち望む（聖譚曲「讃美歌」より）（無伴奏）

五、神に榮光（聖譚曲「救世主」より）（ピアノ伴奏）

六、歡喜を奏せるホザンナ

同八時（東）讃美歌物語　星とそのお友達　上澤謙二・作　基督教童話協會　指揮　上澤　謙二

一、吹奏樂　救世軍參謀樂隊　指揮　チヤールス・デヴイツドスン

（イ）溢るゝ恩寵（ロ）エベネゼル（ハ）クリスマスカロル

同八時二七分（東）國際放送　エクリスマス音樂國際放送エ　獨逸ベルリンより　聖獨逸古民謠　パリトン獨唱　ベールゲ・ヘルガー　オルガン伴奏　ハンス・ブリーダミツツ

同八時五〇分　米國ニューヨークより混聲合唱によるクリスマスカロル

同九時一〇分　伊太利ローマより民族音樂　シツフエアリー及パシトラブリーを主とせる合唱と管絃樂

同九時三〇分（東）時報、ニュース、氣象通報地方へのニユース、引つゞき國内アナウンス

同一〇時　ニュース（朝鮮語、釜山）日番組（翌日の番組、レコード）

第二放送

午後零時〇五分　演藝水　打鈴　龍　瓊　鳳

同一時一〇分　家庭の時間　崔　隣　則

同六時　兒童劇　貫德少年會

同六時三〇分　講演　朴　錫　胤

同七時三〇分　講演　田・樂　澤

クリスマスの夕

同八時（平）合唱　歌謡よりの音樂

同八時三〇分

あすの聞きもの

廿五日（金）

午前九時三〇分（東）木琴と管絃

講演（后六時二五分）本年の文藝界を回顧して　中村武羅夫

今年一年間の文藝を顧みてその顯著な傾向や特徴を拾ひあげて見たいのであるが、今年の文藝には山もなく谷もなく芸極平凡に過ぎて行つた。しかも前年から提唱されてきた長編小説の主張が實際に目星しい作品となつて實を結んだ。又文藝が國際的になつた證據に國際筆會協會が生れ歐米の古典や近代文學が紹介された。その間にプラーゲの問題や文學賞のことや、評論界に於けるヒューマニズムの提唱と興味ある話題を選んでお話しいたしたいと思ふ

大阪商船出帆

門司經由　大阪神戸行

北鮮西鮮航路　天津大連航路ほか

京城府南大門通二丁目　大阪商船株式會社　京城支店

國際運輸會社

仁川　慶田組　釜山　釜山商船組

朝鮮海洋社定期出帆廣告

●瑞山行　●仙掌行　●唐津行　●温陽行　●海州行

株式會社　朝鮮海洋社

朝鮮汽船出帆廣告

野口商會

内鮮運輸出帆

九州郵船株式會社

釜山出帆

大和組回漕部

尼崎汽船出帆

高杉商店回漕部